

(9) 学科科目

人文学科

■ 基盤講義

【人文学科共通必修】

510001 人文学入門

【到達目標】

- ・人文学の基本的な内容を理解する。
- ・各分野（哲学・言語・文学・歴史）の学問の基礎を学ぶとともに、「人間文化」の探究を共通の基軸とする人文学全体を見渡す広い視野を身につける。
- ・授業中に触れた参考文献を軸に、書物を読む基本的な姿勢を身につける。

【概要】 人文学は「人間文化」の営みと成果を探究することを目指す学問である。この講義では、人文学科の第一の柱「人間文化」を探究する4専攻の四つの柱（「哲学」・「言語」・「文学」・「歴史」）の探究の一端をそれぞれ紹介する。これによって人文学の課題や研究方法の基礎を学ぶ。それと同時に、共に「人間文化の学」である他の専攻とのつながりや共通点についても学ぶことにより、人文学の知の全体を広く眺め、大きな視野から「人間文化」を探究する基本姿勢を身につける。授業は人文学科の複数専攻に跨る教員達によるチェーン・レクチャー方式で進める。

【文化】

511001 キリスト教の思想・文化

【到達目標】

- ・キリスト教（旧約・新約思想、カトリック及びプロテスタント）文化思想に関する基礎的知識を身につける。
- ・キリスト教圏の各国家共同体における文化の特色を、その形成過程を辿ることによって理解する。
- ・各国家共同体の文化形成に対して、どのようなキリスト教思想が影響を与えていったかを理解する。

【概要】 本講義は、西方教会圏（カトリック及びプロテスタント）における各国家共同体の文化思想の特色を理解することを目的とする。そのために、旧約及び新約思想、カトリシズム及びプロテスタンティズムの基本的な知識を把握し、各国家共同体の文化形成過程を概観しつつ、その独自の特色に言及していく。そしてそれらの文化形成を生み出した

キリスト教思想を取り上げ、各国家の文化形成の特色にどのように影響を与えていったかを考察していく。

511002 キリスト教の歴史

【到達目標】

- ・キリスト教の成立から始まり、古代、中世、近代を経て今日に至るまでのキリスト教の歴史を理解する。
- ・キリスト教の歴史を理解するために各時代を特徴づける人物や出来事について理解を深める。
- ・キリスト教の歴史的展開が現代を生きる我々とどのような関連を持つのかを考える力を習得する。

【概要】 キリスト教はローマ・カトリック教会、東方正教会、プロテスタント諸教会の3つの大きな流れに分かれて展開してきた。これらのキリスト教の歴史的展開と特徴を把握し、各時代を特徴づける人物や出来事を通して、キリスト教が思想（哲学）や文化の歴史に果たしてきた役割を理解する。

511003 音楽芸術

【到達目標】

- ・取り上げられた西洋音楽の作品の特質を理解する。
- ・作品における音楽的手法、またその様式・形式を理解する。
- ・様々な鑑賞方法を通し音楽を聴く力を養う。

【概要】 音楽(music)という言葉は、音芸術を意味する「ミューズ」(ムーサ)に由来するギリシャ語「ムシケー」に遡る。後の西洋音楽の理論等に多大な影響を及ぼした古代ギリシャの音楽等について文書資料や絵画資料等から情報は得られるものの、当時の音楽的な実態は明らかではない。この授業では、最古の楽譜が現存する単旋律の音楽の後約1千年かけて様々な発展を遂げてきた西洋音楽の中から、個々の時代や作曲家、或いはジャンル別に器楽・声楽作品を取り上げて、それぞれの特徴に注目し、作品における音楽的手法の理解を深めながら、その音楽の持つ芸術性を探る。

511004 音楽史

【到達目標】

- ・西洋音楽の歴史的流れを理解し時代・地域ごとの特徴を把握する。
- ・各時代の個々の作品、個々の楽器やジャンル等においてその様式や形式、及び特徴を理解する。
- ・各時代の作曲家と作品の関わりを学びながら、鑑賞する力を養う。

【概要】 中世から現代に至るまでの西洋音楽の歴史を辿りながら、その中でも特に重要な位置を占める器楽・声楽の作品、及び各時代の作品を生み出すために深く関わりを持って

きた様々な楽器や作品のジャンル等に焦点をあてつつ、それぞれの時代における様式上の特徴や作曲上の手法・形式を説明し、代表的な作品を取り上げ、DVD、CD 等の鑑賞を中心に解説する。

511005 比較思想

【到達目標】

- ・人間の思想と文化的・歴史的背景との間の相互の関係について知識を習得し、分析・考察する力を養う。
- ・人間の思想と文化的・歴史的背景との関係において、個人と集団とのそれぞれのレベルを認識・考察していく力を身につける。
- ・人間の思想の種々の側面を、他者との比較の中で追究する姿勢を養う。

【概要】 人間の思想は、さまざまな文化的・歴史的背景を持ちつつ、相互に影響しあっている。それは個人のレベルにおいても、人間の多様な集団のレベルにおいても、共通しているといえる。その人間の思想の種々の側面を、他者との比較のなかで追究していくことを課題とする。

512001 日本の伝統芸能 A

【到達目標】

- ・演劇・舞踊・話芸・歌謡といった日本の芸能についての基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について理解する。
- ・文学が、芸能における身体表現をどのような形で言語化してきたかについての理解を深める。

【概要】 雅楽、能・狂言、歌舞伎、文楽、落語・講談といった、いわゆる日本の古典芸能が、国際的な視野から見ても、日本文化を代表するものの一角を担っていることは疑う余地がない。本授業では、演劇・舞踊・話芸・歌謡といった芸能のなかから、適宜特定のジャンルを取り上げ、その基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について考究することを目的とする。これらはパフォーマンス・アーツである以上、身体表現であることが第一義である。授業では写真や映像を適宜用いて、そうした表現がジャンルによっていかなる特徴を持っているかについての理解も深めていく。

512002 日本の伝統芸能 B

【到達目標】

- ・演劇・舞踊・話芸・歌謡といった日本の芸能についての基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について理解する。
- ・文学が、芸能における身体表現をどのような形で言語化してきたかについての理解を深める。

【概要】 雅楽、能・狂言、歌舞伎、文楽、落語・講談といった、いわゆる日本の古典芸能が、国際的な視野から見ても、日本文化を代表するものの一角を担っていることは疑う余地がない。本授業では、演劇・舞踊・話芸・歌謡といった芸能のなかから、適宜特定のジャンルを取り上げ、その基礎的な知識を学ぶとともに、そこに表れる日本文化の特性について考究することを目的とする。これらはパフォーマンス・アーツである以上、身体表現であることが第一義である。授業では写真や映像を適宜用いて、そうした表現がジャンルによっていかなる特徴を持っているかについての理解も深めていく。

512003 近現代文化と日本文学

【到達目標】

- ・近現代の文化に関する基礎的な知識を学ぶとともに、それらが記された日本文学を読解する。
- ・文学が、国内外の近現代文化をどのように言語化してきたかについて理解を深める。

【概要】 国内外で展開されてきた近現代文化についてその歴史、基礎知識を学ぶ。さらに、文学に取り入れられたさいの内容の変容・解体・複雑化など、内容と表現の関係など、基礎的研究方法を学ぶ。これらの考究によって、文学作品を多角的に分析できるようになることが目的である。諸ジャンルの交錯によって生み出される新たな表現についても着目できるようになる。

512004 漢文と日本文化

【到達目標】

- ・日本の文学と文化に多大な影響を与えた中国古典文学の基礎的な知識を身につける。
- ・漢文の語法と訓読法の基礎を身につけることによって、中国古典および日本漢文の平易な文章を読み解く力を身につける。
- ・日本漢文や漢文訓読体の影響を受けた和漢混交文の文章にも触れることで、漢文が日本語表現の一つに位置づけられていたことを理解する。

【概要】 中国古典および日本の漢文学の著名な作品を取り上げ、基礎的な学習をする。まず漢文の語法と訓読法の知識を復習しながら、平易な文章を読解する。その上で、中国古典文学・思想・歴史の各分野の代表的な文献を読み、独特の発想や論理・美意識について理解を深める。さらに、漢文訓読体や日本漢文の文章にも触れ、和漢混交文との関わりなど日本の言語文化に与えた影響について考察する。

513001 Japanese Culture & Literature

【到達目標】

- ・世界から見た日本の文学や文化の特徴を理解する。
- ・英語で日本の文学について説明し、発信する力を養う。

- ・英語で日本の文化について説明し、発信する力を養う。

【概要】 本講義では、英語に翻訳された日本の文学作品、あるいは英語で書かれた日本文学論や文化論を読解し、世界では日本の文学や文化のどのような点に関心を持たれ、どのような視座から、どのような特徴があると捉えられているのかを理解する。文献の読解を踏まえて、日本の文学と文化を新たな眼差しで見つめなおし、その諸相について英語で説明する方法を学生が自ら考え、表現する力を身につける。

513002 異文化理解

【到達目標】

- ・主に英語圏を対象に、文化的表象（視覚、聴覚、身体、思想など）の多様性を理解し、その特質を分析するための方法論を理解する。
- ・主に英語圏を対象とした、文化的表象の多様性と異文化間コミュニケーションの可能性について理解する。
- ・主に英語圏の日常的な異文化理解の諸問題への視野を広げる。

【概要】 主に英語圏の文化的表象を対象に、ある文化を「異文化」として捉える眼差しに注意を払いつつ、思想、感性、社会制度や生活様式等の人間の文化の様々な側面の理解を深める。同時に、異文化として認識された文化を相互に理解し合うことを目指し、異文化間のコミュニケーションをめぐる諸問題や可能性を考察する。文化的表象を読み解く基礎的な方法論の一端も学習する。

513003 英語文学文化理論

【到達目標】

- ・主要な批評の理論や方法論を理解する。
- ・批評を読み解く力を身につける。
- ・上記の理解に基づき文学・文化テキストを議論する力を養う。

【概要】 英語圏文学・文化を分析する上で有用な、英語で書かれた主要な批評理論を習得する。さまざまな文化の様相を分析し、その社会的意味を探究するカルチュラル・スタディーズとの関わりも視野に入れる。具体的には、英語圏の主要な文学・文化批評理論を取り上げて英語で読み、内容を考察した後、その理論を英語圏の文学作品や文化現象等のテキストに実際に適用してすることで、文学・文化の表象が視点の変化によりいかに異なる意味をもち得るかを観察する。

513004 アメリカの社会と文化（アメリカ社会基礎論）

【到達目標】

- ・アメリカ社会と文化の成り立ちの概要を理解する。
- ・アメリカ社会と文化の基本的特徴を理解する。

- ・アメリカ社会と文化の通時的変化を理解する。

【概要】 この授業では、アメリカの政治や外交の基盤となるアメリカの社会と文化について、特にその宗教的・思想的背景を学ぶ。授業は、植民地時代から現代に至るまでを時代順に、いくつかの時期に分けて、考えてみる。扱うトピックは、現代アメリカを理解する上で欠かすことのできない、ピューリタニズム、福音主義、ファンダメンタリズムといった宗教的運動の諸相等、あるいは、トランセンデンタリズム、プラグマティズム、多文化主義といった文化的運動の諸相等である。

514001 歴史文化の基礎テーマ A

【到達目標】

- ・歴史に関する基礎的な知識を習得する。
- ・歴史全体の流れの中に、日本・アジア・西洋の歴史を位置づける。

【概要】 歴史を通観し、たとえば西洋史などをテーマに日本史・世界史的視点を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指すとともに、当該地域においてこれまで生じてきた諸問題について、歴史的視点と現代の視点の両方から考察して理解する姿勢を身につける。本講義では、上記の目標を達成するために、歴史学上重要とされるトピックに焦点を当てて、発展科目に応用できるようにする。

514002 歴史文化の基礎テーマ B

【到達目標】

- ・歴史に関して、発展科目へ応用可能な知識を習得する。
- ・日本・アジア・西洋の歴史などを、歴史全体の中に位置づける。

【概要】 歴史を通観し、たとえばアジア史などをテーマに日本史・世界史的視点を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指すとともに、当該地域においてこれまで生じてきた諸問題について、歴史的視点と現代の視点の両方から考察して理解する姿勢を身につける。本講義では、上記の目標を達成するために、歴史学上重要とされるトピックに焦点を当てて、発展科目に応用できるようにする。

【哲学】

511006 哲学の基本問題

【到達目標】

- ・自分自身で物事を正確に考える力を身につける。
- ・哲学とはなにか、の基礎知識を身につける。

【概要】 哲学とはなにか、をゼロから学ぶ。哲学することのトレーニングの授業であり、常に、受講生との応答や議論のなかで講義は進められる。日常的で常識的なものの見方の

あいまいさや不確かさを確認し、常識に囚われずクリアにものごとを深く考え抜く力を身につける。ここでは、哲学的テキストに触れる前に、自分自身でものをじっくり考える訓練に重きを置いて授業を進める。

511007 哲学の歴史的展開

【到達目標】

- ・哲学が歴史的にどのように展開してきたかを理解する。
- ・哲学の思想家たちのテキストを読む力を身につける。

【概要】 哲学とはなにか、を歴史的展開の視点から学ぶ。日常的で常識的なものの見方のあいまいさや不確かさを確認し、常識に囚われずクリアにものごとを深く考え抜く力を身につける。ここでは、先達の思想家たちのテキストに接しながら、哲学が歴史的にどう展開してきたかを考えていく。思想の古典的テキストを読む基礎的な力も身につける。

511008 哲学概論

【到達目標】

- ・哲学とはどのような学問であるか、その基本的な特徴を理解する。
- ・哲学が扱う主要な問題について、基本的な知識を習得する。
- ・これを通じて、哲学的に考えることの意味、面白さ、難しさを実感し、自分で根本的に考える習慣を身に付ける。

【概要】 哲学とはどのような学問かということについて、基本的な姿勢を学ぶことを目標とする。内容としては、人間と文化のかかわりを中心にして、人間が言語や知識を通じて周囲のものとどのように関わりながら、世界を築いていくかを考える。そのために、古今のさまざまな哲学・思想を手がかりにし、また隣接するいろいろな学問も参考にして、多面的に検討する。ただし、学説の紹介よりは、問題の立て方とそれに対する自分自身の考え方を養うことに力点をおく。

511009 倫理学概論

【到達目標】

- ・倫理学の基本を具体的な問題を通して理解し、考えながら、自分なりの考え方を探る姿勢を身につける。
- ・具体的な問題への敏感な態度を養う。

【概要】 倫理学とはどのような学問かということについて、基本的な姿勢を学ぶことを目標とする。内容としては、社会生活を営む人間同士のかかわり方を中心に、「私」の存在、善と悪の判断、法や道徳が成立する根拠などを考え、価値観の多様化の中でこれからあるべき社会のルールについて模索する。そのために、古今のさまざまな思想を手がかりにして、多面的に検討する。ただし、学説の紹介よりは、問題の立て方とそれに対する自分自

身の考え方を養うことに力点をおく。

511010 美学概論

【到達目標】

- ・美学の概観的知識を習得することによって、今後の美学の学習の基礎を獲得する。
- ・その上で、個別芸術と個々の美的現象にどのように美的方法論・見方が適用されるかについての基本的理解を習得する。

【概要】 「感性的認識についての学」として「美学」は18世紀西洋で誕生した。その意味で「美学」を現代の流動的で多様な状況の中で更に活用させるためには、この独自の歴史・地理性をまず踏まえることが重要となる。その上で、芸術学という狭い枠組みに単純に収まらない「美学」の基礎的な概念と考え方について概観しその可能性を探る。また授業では、文学、美術、上演芸術などの個別芸術を美的問題群についてもできるかぎり紹介していく。

511011 キリスト教学概論

【到達目標】

- ・ヨーロッパ文化・哲学のふたつの源泉であるギリシアの伝統とユダヤ・キリスト教の伝統が会うことによって、いかなる事態が起こったのか、その具体的状況を理解する。
- ・その上で、ギリシア哲学、キリスト教双方の理解をより深める。
- ・キリスト教の提起する人間観により、現代世界が直面している深刻な危機を見抜く洞察力を培う。

【概要】 ヨーロッパ思想史の必須の素養としてのキリスト教思想を考察する。神の愛と隣人愛、信仰と希望、原罪と贖罪、三位一体論など、キリスト教思想の基本を解説し、ペテロ、パウロ以来のキリスト教会史の流れを概観する。天使とも動物とも異なる被造物としての人間の位置を明らかにすることは、「人間とは何か」という哲学的考察にも関連するものであり、その理解を目指す。また、キリスト教の提起する人間観は、現代世界が直面している深刻な危機を見抜く洞察力を培うと考え、視野を広げて考察する。

511012 思考と論理

【到達目標】

- ・考え方の道筋としての論理学の基礎を習得する。
- ・論理学の方法の意味を具体的内容にそって理解する。
- ・合理的な思考法を身につける。

【概要】 論理学の本質と基礎的テクニックについて平易に説明する。論理を人間の思考に課せられた普遍的・絶対的な枠組みとして捉えるのではなく、世界標準となったヨーロッパの推理作法として捉え、その意味と具体的内容を概観する。論理的な考え方の初歩のマ

スターを目指す。合理的思考法とは、どのようなものであるかを理解できるようにする。

511013 西洋古代哲学講読

【到達目標】

- ・ギリシア哲学・倫理学の基本概念を習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力を養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現力を身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につける。

【概要】 プラトンやアリストテレスなど、初期から古代ギリシア哲学盛期までの代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学の基本問題を多面的に考える。ギリシア語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。古代哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

511014 西洋中世哲学講読

【到達目標】

- ・ヨーロッパ中世哲学（スコラ哲学並びにキリスト教神学）の基本概念を習得する。
- ・受講者同士の討論を通じて、各自の思考力を養っていく。
- ・発表とレポートを通じて、正確で明快な言語表現力を身につける。
- ・古典古代の名著を読むことを通じて、それを自らの思考の糧として身につける。

【概要】 ヘレニズム期から中世にかけての、古代・中世哲学の代表的著作をテキストに選び、哲学・倫理学の基本問題を多面的に考える。ギリシア語・ラテン語テキストと日本語訳のほか、英文の注釈書や研究論文を交えて検討する。中世哲学を研究するうえでの方法論の基本も押さえる。哲学的討議の仕方も、実地で学んでゆく。

511015 キリスト教学講読

【到達目標】

- ・教父時代から中世半ばまでのキリスト教の中心的な教義をめぐる議論の概要を理解する。
- ・具体的な個別テキストを、方法論的にコントロールされた仕方と解釈する作法を身につける。
- ・古典的なテキストが指し示しているものを、現代的な視点から問い直す姿勢を養う。

【概要】 教父時代から中世半ばまでのキリスト教の広大な伝統の中から、古典的文献を選び、そのテキストを精読することを通じて、キリスト教思想の精髓を深く理解する。そのためには、テキストの背景となる、著者の時代と生涯についても学ぶ必要があり、また近年の国内外の研究にも目を向けたい。邦訳を参照するが、可能な範囲で原典を大事にしたい。担当者は、事前にレジュメを用意したうえで独自の解釈を提示することが求められる。その後、参加者全員で討議を行なう。

511016 古代ギリシア哲学史

【到達目標】

- ・単なる年代の羅列とは異なる「哲学史」の具体的なイメージを理解する。
- ・翻訳を通じて、いくつか古代の重要な思想家の文章にふれ、その本質を理解する。
- ・科学、宗教、文学を横断する古代の様々な思考の型を理解する。

【概要】 古代哲学を継承し、キリスト教と深く結びつきながら、カロリング・ルネサンスを経たヨーロッパ世界の形成期に展開した中世哲学の多様性を学ぶ。また、イスラーム世界を経由したアリストテレス主義の導入や、普遍論争の中で培われたスコラ哲学の意義と重要性を、近世・近代哲学の源流という観点も含めながら考察する。

511017 中世ヨーロッパ哲学史

【到達目標】

- ・単なる年代の羅列とは異なる「哲学史」の具体的なイメージを理解する。
- ・翻訳を通じて、いくつか中世の重要な思想家の文章にふれ、その本質を理解する。
- ・科学、宗教、文学を横断する中世の様々な思考の型を理解する。

【概要】 古代哲学を継承し、キリスト教と深く結びつきながら、カロリング・ルネサンスを経たヨーロッパ世界の形成期に展開した中世哲学の多様性を学ぶ。また、イスラーム世界を経由したアリストテレス主義の導入や、普遍論争の中で培われたスコラ哲学の意義と重要性を、近世・近代哲学の源流という観点も含めながら考察する。

511018 西洋近代哲学史

【到達目標】

- ・西洋哲学史を学ぶのに必要な基礎的素養を身につける。
- ・近代哲学史とくにその成立事情を、その本質を見極めて理解する。
- ・哲学的な根本問題をじっくり自分で考える態度を身につける。

【概要】 十七世紀に本格的に始動する近代哲学の源流を中世後期に求め、その歴史的展開を当時の社会情勢などにも目を配りながら考察し、さらに十八世紀において一つの頂点に達するその全容を理解することを目指す。そして、近代がどのような意味で現代の我々自身の思考を規定しているかということを議論しながら、哲学史を学ぶことの意味について考える。

511019 西洋現代哲学史

【到達目標】

- ・西洋哲学史を学ぶのに必要な基礎的素養をいっそう身につける。
- ・現代哲学の成立事情を、その本質を見極めて理解する。

- ・現代哲学の基礎概念をその発生現場において押さえ、その意義について理解する。

【概要】 十八世紀に一つの頂点に達した近代哲学のどのような点が批判され、現代哲学が誕生したのかということ、十九世紀、二十世紀、そして現在の様々な哲学者たちの思考を丹念に分析することを通じて理解する。そして、現代哲学が、現在を生きる我々にとって持つ意義を理解することを目指す。

511020 西洋倫理学史

【到達目標】

- ・古代から現代にいたる西洋の倫理学の歴史の概要を理解する。
- ・倫理学の基礎的な概念をその歴史性において理解する。
- ・倫理、道德に関する根本問題をじっくり自分で考える態度を身につける。

【概要】 古代から現代にいたる西洋の倫理学の歴史をそれぞれの哲学者、倫理学者の理論の構造を丹念に分析することで理解することを目指す。個人の行為に関わる倫理だけでなく、社会制度、政治制度についての倫理学理論についてもその歴史を概観する。

511021 美学史

【到達目標】

- ・代表的な美学的思索の古代から現代への大きな流れを理解する。
- ・これらの美学的思索がそれぞれおかれていた時代と社会の状況との深い関わりを理解する。
- ・近代西洋美学を立体的・相対的に俯瞰する視点を培う。

【概要】 西洋で「感性的認識についての学」として成立した18世紀西洋「美学」を中心的な軸としつつも、古代から現代に至る「美的なもの」を巡る思索の大きな流れを、その思索と不可分な同時代の社会・宗教・政治状況そして美的・芸術現象に具体的に触れつつ概観する。

511022 宗教学

【到達目標】

- ・宗教および宗教学についての視点と方法を学ぶことを通じ、「宗教とは何か」という問題に向き合う基礎を培う。
- ・現代社会における宗教を学問的に理解することによって、宗教と私たちとの関わりについて考える力を養う。

【概要】 宗教学の視点と方法、および宗教に対する思索の歴史など、宗教学の基礎的知識を学び、さらに現代の宗教を学問的に理解する方法と視点を習得することを目的とする。「宗教とは何か」という問題を考えるために、まず対象となる「宗教」をめぐる過去にどのような思索が試みられてきたのか検討し、「宗教」を捉えるための諸々の方法を紹介し、

その上で“今”・“ここ”にいる私たちに「宗教」がどのように関わっているのかを考えるための具体的な材料を提供する。

511023 宗教史

【到達目標】

- ・宗教の基本的特質を十分に理解できる力を養う。
- ・宗教について通時的な把握が十分にできる力を養う。

【概要】 キリスト教、仏教をはじめとする世界の諸宗教の成立と発展の歴史を概観する。このような個別の宗教の具体的な成立とその歴史の知識を基本にしながら、宗教とはそもそも何であるかについて、基本的視野を獲得する。

【言語】

512005 日本語の世界

【到達目標】

- ・日本語学に関する基本的な知見を身につける。
- ・日本語について、社会、文化、生活、歴史といった背景を視野に入れつつ、多角的に観察する力を身につける。
- ・日本語を客観的に見つめ、その特徴を正確に説明、記述する力を身につける。

【概要】 日本語母語話者にとって、また外国語として日本語を学習する者にとって、日本語とはどういう言語か、他の言語との比較などを通して、実際の言語データを活用しつつ、さまざまな問題について考究したい。日本語を母語とする者にとっては水や空気のような存在であるが、立ち止まって考察することで気づかなかった日本語の不思議な世界について理解を深めたい。日本語の背景にある、社会、文化、生活、歴史との関わりにも留意しながら、音声、文字・表記、語彙、文法、敬語、文体、方言、日本語史等のさまざまな領域の話題を取り上げ、日本語の特徴について理解を深めてゆく。

512006 日本語学概論Ⅰ

【到達目標】

- ・現代日本語について、主に、音声・音韻、文字・表記、語彙、文法上の基本的な性質を知る。
- ・日本語学という分野について、主に、音声・音韻論、文字・表記論、語彙論、文法論という分野の基本的な考え方を身につける。

【概要】 我々が日常用いている言語である日本語を、様々な角度から考究する。日本語学という学問分野を紹介するという側面と、日本語についての最低限の知識を習得してもらうという側面の、(だいぶ方向性の異なる)二つの側面を有する。日本語学を専門的に学ん

でいく者にとっては、基盤となる知識の習得を目指し、他の分野を専門的に学んでいく者にとっては、日本語についてより深く考えるきっかけをつくる。本講義では、現代語を中心に、音声・音韻論、文字・表記論、語彙論、文法論について講ずる。

512007 日本語学概論Ⅱ

【到達目標】

- ・現代日本語について、主に、文法、意味、運用（敬語・方言等）上の基本的な性質を知る。
- ・日本語学という分野について、主に、文法論、意味論、運用論、及び応用分野の基本的な考え方を身につける。

【概要】 我々が日常用いている言語である日本語を、様々な角度から考究する。日本語学という学問分野を紹介するという側面と、日本語についての最低限の知識を習得してもらうという側面の、（だいぶ方向性の異なる）二つの側面を有する。日本語学を専門的に学んでいく者にとっては、基盤となる知識の習得の場となり、他の分野を専門的に学んでいく者にとっては、日本語についてより深く考えるきっかけとなるであろう。本講義では、現代語を中心に、文法論、意味論、運用論及び応用分野について講ずる。

512008 日本語の歴史Ⅰ

【到達目標】

- ・日本語の歴史を考察する資料についての正確な知識を身につける。
- ・上代から平安時代の社会、文化、宗教的背景と日本語との関係についての知見を身につける。
- ・文字・表記、音声・アクセント、語彙、文法、文体など日本語を考察する多角的な視点を身につける。

【概要】 漢字専用時代の上代から、平仮名、片仮名を獲得する平安時代までの日本語の歴史を辿る。文字・表記、音韻・アクセント、語彙、文法、文体など、特定の領域に限定せず、さまざまな話題を取り上げる。また、資料も、文学作品に限らず、金石文、史書、文書、訓点資料等のさまざまな文献を用いて、この時代の日本語の姿の多面的相貌を解明してゆく。単に言語の観察に終止することなく、社会、政治、文化、宗教といった歴史的背景との関連にも留意しながら考察してゆく。

512009 日本語の歴史Ⅱ

【到達目標】

- ・日本語の歴史を考察する資料についての正確な知識を身につける。
- ・中世から近世・近代の社会、文化、宗教的背景と日本語との関係についての知見を身につける。
- ・文字・表記、音声・アクセント、語彙、文法、文体など日本語を考察する多角的な視点を

身につける。

【概要】 言文二途に分岐するとされる院政鎌倉時代から、口語資料が多く伝わる室町時代、そして、江戸時代を経て明治時代に至るまでの日本語の歴史を辿る。文字・表記、音韻・アクセント、語彙、文法、方言など、特定の領域に限定せず、さまざまな話題を取り上げる。また、資料も、文学作品に限らず、仏書やキリシタン版などの宗教文献にも目を向け、この時代の日本語の姿の多面的相貌を解明してゆく。単に言語の観察に終止することなく、社会、政治、文化、宗教といった歴史的背景との関連にも留意しながら考察してゆく。

513005 言語の多様性と普遍性

【到達目標】

- ・言語データを分析し、背後にある構造や言語能力のしくみを考える基礎と分析能力を身につける。
- ・日本語、英語とは異なるタイプの言語に触れ、言語間の共通性や相違点に注目し、言語を相対化して見る視点を身につける。
- ・人間の言語能力の普遍的特徴が、どのように個別言語の言語現象に反映されているかを理解する。

【概要】 日本語・英語・その他の自然言語には、非常に異なって見える現象の背後に共通のシステムを見出すことがある。そのような発見を通して、自然言語において基本要素を組み合わせる複雑な表現を作るしくみ、こどもが周囲の会話を手がかりに母語を獲得する上で必要となる生物学的な基盤と環境との関わりを考える思考法を身につける。履修者の多くにとって、自覚する間もなく習得した日本語、学ぶべき外国語とされている英語を、他の言語と並べて分析する体験を通して、自分が持つ枠組みを相対化して見る姿勢を身につける。

513006 英語学概論 A

【到達目標】

- ・英語の構造の研究に必要な基本用語とその概念を理解する。
- ・英語の構造に関する規則性を論理的に記述する手法を身につける。
- ・上記2点を通じて、より専門的な英語学研究の見通しを得るとともに、自身の英語力の向上のために何が必要かについても、筋道を立てて振り返ることが出来るようになる。

【概要】 英語の単語・文における構造的な特質について理解するために、英語を、日本語をはじめとする様々な言語（英語のバラエティも含む）と比較することによって、その構造上の共通点、相違点を体系的に分析し、考察を加える。この講義では、文法的・非文法的な英文を、最小対等を用いることによって丁寧に観察し、記述する訓練をする。またそれと同時に、先行研究においてそれらにどのような説明が与えられているかについても概観し、理解する。

513007 英語学概論 B

【到達目標】

- ・英語と社会との相互関係を理解し、多様な視点から英語を見ることができる力を養成する。
- ・英語と日本語の社会的変異の多様性を理解する。
- ・上記2点を通じて、より専門的な英語学研究の見通しを得るとともに、自身の英語力の向上のために何が必要かについても、筋道を立てて振り返ることが出来るようになる。

【概要】 言語は単なる記号体系として存在するのではなく、それを用いる人がいて、その人たちによって構成される社会がある。言語は人間にとってもっとも身近な存在であり、そこには私たちの住む社会のあり方が直接的、あるいは間接的に反映されている。この講義では、言語としての英語について、特に社会との関連に焦点をあてて、英語圏と日本との比較対照も加えながら概観する。英語の社会言語学的研究への導入を意図した科目である。

513008 応用言語学概論 A

【到達目標】

- ・ Students will learn about applied linguistics and SLA research and the history of these fields.
応用言語学及び第二言語習得 (SLA) の研究とその歴史について理解する。
- ・ Students will enhance their knowledge about applied linguistics and develop their ability to communicate effectively about language learning.
応用言語学の知識を深め、言語学習・言語獲得 (のあり方) について客観的に分析する能力を身につける。
- ・ They will also apply their knowledge of SLA principles to analyze their own language learning history.
SLA の理論を適用し、自身の言語学習を振り返ったり計画したりできるようになる。

【概要】 This course is for students interested in second language acquisition and foreign language education. The course introduces students to the field of applied linguistics, including sociolinguistics and second language acquisition (SLA). Different factors that influence language learning will also be covered in the course. Students will have the opportunity to analyze their own language learning experiences and to reflect on their own learning styles. The course combines SLA-related content and written, listening, and discussion tasks to allow students to improve their English ability.

本講義は、第二言語習得と外国語教育に関心を抱く学生を対象としている。この授業では、

応用言語学、社会言語学、第二言語習得（SLA）の分野とその歴史を紹介し、受講者は、言語習得に影響する様々な要因についても学ぶ。学生は、自身の言語習得経験を分析し、自分の学習を振り返る機会も得る。更に、SLA 関連の内容について書く、聞く、議論するという複合的なタスクを通じて、受講者は自身の英語力を向上させる。

513009 応用言語学概論 B

【到達目標】

- Students will learn the fundamentals of different Second Language Acquisition theories.

様々な SLA 理論の基礎を学ぶ。

- They will also learn and analyze factors that influence the language learning process.

第二言語習得プロセスに影響のある要因についてを学び、第二言語学習プロセスを分析できるようになる。

- They will complete a written and oral project to apply the knowledge gained in the course.

授業で得た知識を応用し、プロジェクト課題に取り組み、発表する。

【概要】 This course is for students interested in second language acquisition (SLA) and foreign language education. The focus of the course is on second language acquisition, more specifically, English learned or acquired as a foreign language. The course will introduce basic information about SLA theories and a variety of issues related to foreign language learning. It will also help learners maintain and improve their English language skills.

本講義は、第二言語習得（SLA）と外国語教育に関心を抱く学生を対象としている。この授業は、第二言語習得、特に外国語または第二言語として習得される英語に焦点を当てている。基本的な SLA 理論と、外国語学習に関連する様々な問題を紹介する。上記を通じて、学習者の英語力維持・向上させる。

513010 第二言語習得基礎論 A

【到達目標】

- Students will discover the topics and questions that SLA researchers investigate related to language learning.

SLA 研究者が外国語学習に関してどのようなテーマや疑問を持っているのかを把握できるようになる。

- Students will reflect on how these topics might be researched within a graduation thesis framework.

卒業論文の研究で、これらのテーマがどのように研究されうるかを考察できるようになる。

- Students will evaluate different types of research questions and the methods used to investigate them.

様々なリサーチクエストとその調査方法を理解し、評価できるようになる。

【概要】 This course focuses on current topics that are researched within the field of second language acquisition. Students will gain an understanding of how researchers approach different assumptions related to the teaching and learning of second or foreign languages. Example topics may include: bilingualism; age of learning; and error correction. The course will be of interest to those students wishing to become language teachers as well as students with a general interest in second language learning.

本講義では、第二言語習得の最新研究のトピックに焦点を当てる。第二言語又は外国語の教授と学習に関するさまざまな仮定に対して、研究者がどのようにアプローチしているかを理解する。取り扱うテーマの例としては、バイリンガリズム、言語の習得年齢、誤り訂正等がある。本講義は、語学教員を目指す学生はもちろん、第二言語習得と外国語教育に関心を持つ学生も対象としている。

513011 第二言語習得基礎論 B

【到達目標】

- Students will discover the topics and questions that SLA researchers investigate related to language learning.

SLA 研究者が外国語学習に関してどのようなテーマや疑問を持っているのかを把握できるようになる。

- Students will reflect on how these topics might be researched within a graduation thesis framework.

卒業論文の研究で、これらのテーマがどのように研究されうるかを考察できるようになる。

- Students will evaluate different types of research questions and the methods used to investigate them.

様々なリサーチクエストとその調査方法を理解し、評価できるようになる。

【概要】 This course focuses on current topics that are researched within the field of second language acquisition. Students will gain an understanding of how researchers approach different assumptions related to the teaching and learning of second or foreign languages. Example topics may include: motivation; vocabulary acquisition; and the goals of language teaching. The course will be of interest

to those students wishing to become language teachers as well as students with a general interest in second language learning.

本講義では、第二言語習得の最新研究のトピックに焦点を当てる。第二言語又は外国語の教授と学習に関するさまざまな仮定に対して、研究者がどのようにアプローチしているかを理解する。取り扱うテーマの例としては、動機づけ、語彙習得、語学教育の目的等がある。本講義は、語学教員を目指す学生はもちろん、第二言語習得と外国語教育に関心を持つ学生も対象としている。

【文学】

512010 日本文学概論（古代）

【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として古代（奈良～十一世紀）の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。
- ・この時代の文学が後世にいかなる影響を与えたかについて理解する。

【概要】 日本古典文学のうち、主として古代（奈良～十一世紀）の文学や文化についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。中国大陸の影響を初めとして、いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、後世にいかなる影響を与えたかなどについて、文学作品に即して考える。

512011 日本文学概論（中世）

【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として中世（十二世紀～鎌倉・室町）の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・この時代の文学が、古代（奈良平安）の文学からどうつながり、どのように転換しているかについて理解する。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。

【概要】 日本古典文学のうち、主として中世（十二世紀～鎌倉・室町）の文学についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらした、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をも

たらし、後世にいかなる影響を与えたかなどについて、歴史的視点を持ち、文学作品に即しつつ論じていく。

512012 日本文学概論（近世）

【到達目標】

- ・日本古典文学のうち、主として近世（江戸）の文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。

【概要】 日本古典文学のうち、主として近世（江戸）の文学についての基礎的な知識を学ぶことを目標とする。いかなる社会情勢、慣習、価値観の影響を受けて、どのような特徴を有する文学作品が生まれたのか。文学上の劃期をもたらし、注目すべき出来事は何か。また、そうして生まれた古典文学作品は、どのような価値観や慣習をもたらし、後世にいかなる影響を与えたかなどについて、歴史的視点を持ち、文学作品に即しつつ論じていく。

512013 日本文学概論（近現代）Ⅰ

【到達目標】

- ・日本近現代文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。

【概要】 日本の近代文学について、広く基礎的な知見を養う。明治・大正から昭和期の戦前あたりまでの諸作品を時代順に取り上げることで、まず日本近代文学史を身につける。そのうえでこれらの作品の特質や文学史的意義を明らかにできるようになることが目標である。とくに明治期については新しい文学的世界の創造と多様化について、大正期についてはその文学的成熟度について、論理的な分析と考察によって跡付ける。

512014 日本文学概論（近現代）Ⅱ

【到達目標】

- ・日本近現代文学についての基礎的な知識を身につける。
- ・文学作品がその時代の情勢や慣習や価値観からいかなる影響を与えられ、また逆にいかなる影響を与えたかについて考える力を養う。

【概要】 日本の近代文学について、広く基礎的な知見を養う。昭和から現代に至る諸作品を分析することを通して、文学研究の多様な方法を身につける。さらに、これらの作品の特質や文学史的意義を明らかにできるようになることが目標である。とくに昭和期については戦前をどのように解体し、戦後から現代にかけて模索の諸相を築いていったかといった問題意識を持ち、論述できるようになる。

512015 漢文学概論 A

【到達目標】

- ・ 中国文学の歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。
- ・ 中国文学・思想等の原典を読解する基礎力を身につける。
- ・ 中国文学の全体像を概観し日本文学に与えた影響を理解する。

【概要】 中国文学の歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。主として古代・中世の文学を中心に学び、上代以来の古典詩、諸子百家以来の散文、『春秋左氏伝』『史記』等の歴史文学その他をとりあげる。それぞれの文学作品・文献の特徴を原文に即して読解し、その成立の文化的背景、社会情勢、慣習等にも立ち入って考察する。また、それぞれの作品が同時代や後世、日本文学に与えた影響について分析する。中国古典文学の全体像をつかみ、その豊かさと価値を、作品に即しながら、多元的な視点からとらえる。

512016 漢文学概論 B

【到達目標】

- ・ 中国文学の歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。
- ・ 中国文学・思想等の原典を読解する基礎力を身につける。
- ・ 中国文学の全体像を概観し日本文学に与えた影響を理解する。

【概要】 中国文学の歴史とジャンルについて、基礎的な知識を身につける。主として中世・近世の文学を中心に学び、古典文語小説と白話小説、宋词や元曲等の歌曲などをとりあげる。それぞれの文学作品・文献の特徴を原文に即して読解し、その成立の文化的背景、社会情勢、慣習等に立ち入って考察する。また、それぞれの作品が同時代や後世、日本文学に与えた影響について分析する。中国古典文学の全体像をつかみ、その豊かさと価値を、作品に即しながら、多元的な視点からとらえる。

512017 書道

【到達目標】

- ・ 指導者としてふさわしい漢字・仮名の基本的な筆使いを習得する。
- ・ 書道の歴史、古典作品を理解し、臨書ができるようにする。
- ・ 書道の芸術性を理解し、自分なりの作品を作成する力量を身につける。

【概要】 国語科指導者としての書道（書写）を養うと共に、書道の芸術性についても理解を深めることを目標とする。毛筆に親しむことから始め、基礎的な書写技能の向上と定着を図る。漢字・仮名の基本的用筆法、古典の鑑賞、臨書など書道芸術の多様性について理解を深める。

513012 英語文学文化概論 A

【到達目標】

- ・英語文学の作品例を概観し、英語文学テキストを読み解く際に有用である概念や視座を習得する。
- ・英語文学テキストを形づくる言語表現の諸特徴、主題、象徴、暗喩等を読み解く基礎力を培う。
- ・歴史・文化・社会的背景が文学テキストに表象される場合の基本的な解釈方法を習得し、作品とそれを取り巻く文化の理解を深化する。

【概要】 イギリスとアメリカおよび関連の深い地域、その他英語圏の文学作品とその特質を、文学・文化史的背景を参照しつつ概観する。具体的な作品例を取り上げ、英語文学テキストを読み解く際に有用である基本的な視座、用語、概念を学び、言語表現の諸特徴や象徴、暗喩等を読み解く基礎力を培う。加えて、各時代の歴史・文化・社会的背景や思潮、文化的コンテキストと文学テキストが相互に及ぼし合う影響を考察し、作品とそれを取り巻く文化のより深い理解を目指す。

513013 英語文学文化概論 B

【到達目標】

- ・文化・文学テキストの読解分析をととして英語圏の文化の多様性を理解する。
- ・時代・地域・歴史・社会等のコンテキストを参照しつつ、様々なテーマに即して文化を表象するテキストを読み解き、テキストが織り込む問題を把握する基礎力を培う。
- ・文化・文学テキストを読み解く上で有用な基本的な批評理論を習得する。

【概要】 英語圏の多様な時代・地域・ジャンルの文化・文学テキストを特定のテーマに即して読み解き、テキストが時代や文化等のコンテキストとどのように関わり合い、どのような意味を持ちうるかを考察する。具体的には、英語圏の文化を表象する媒体（映画、新聞、広告、写真など）をいくつか取り上げて読み解き、それらの文化的・社会的意味を分析する。必要に応じて基本的な批評理論や文学テキストを参照し、作品とそれを取り巻く文化のより深い理解を目指す。

513014 英語文学文化史（イギリス） I

【到達目標】

- ・中世から王政復古期までのイギリス文学・文化史を概観する。
- ・各期各ジャンルの主要な作品・作者・時代区分・表現様式・主題等に関する用語や概念を習得する。
- ・上記および歴史・思想・社会的背景の理解にもとづき、個々の文学・文化テキストの特質を広く文学・文化史的観点から自律的に考察する素地を涵養する。

【概要】 本講義では、中世から初期近代、王政復古期に至るイギリス文学・文化史を、各時代の歴史・社会的背景や思潮を参照しつつ概観する。主要な作品・作者・時代区分・表現様式・主題等に関する用語や概念を習得した上で、各期の文学作品や視覚文化の例を、

必要に応じて各種先行研究や批評理論、英語史・書物史・出版文化等との関連を参照しつつ読解分析し、個々の作品や作者の文学・文化史上の意義や位置づけを検討しつつイギリス文学・文化の通史的・体系的理解を深める。

513015 英語文学文化史（イギリス）Ⅱ

【到達目標】

- ・近・現代のイギリス文学・文化史を概観する。
- ・各期各ジャンルの主要な作品・作者・時代区分・表現様式・主題等に関する用語や概念を習得する。
- ・上記および歴史・思想・社会的背景の理解に基づき、個々の文学・文化テキストの特質を広く文学・文化史的観点から自律的に考察する素地を涵養する。

【概要】 本講義では、18 世紀から 21 世紀に至るイギリス文学・文化史を、各時代の歴史・社会的背景や思潮を参照しつつ概観する。主要な作品・作者・時代区分・表現様式・主題等に関する用語や概念を習得した上で、各期の文学作品や視覚文化の例を、必要に応じて各種先行研究や批評理論、書物史・出版文化等との関連を参照しつつ読解分析し、個々の作品や作者の文学・文化史上の意義や位置づけを検討しつつイギリス文学・文化の通史的・体系的理解を深める。

513016 英語文学文化史（アメリカ）

【到達目標】

- ・17 世紀から 21 世紀のアメリカ文学・文化史を概観する。
- ・各期各ジャンルの主要な作品・作者・時代区分・表現様式・主題等に関する用語や概念を習得する。
- ・上記および歴史・思想・社会的背景の理解に基づき、個々の文学・文化テキストの特質を広く文学・文化史的観点から自律的に考察する素地を涵養する。

【概要】 本講義では、17 世紀から 21 世紀に至るアメリカ文学・文化史を、各時代の歴史・社会的背景や思潮を参照しつつ概観する。主要な作品・作者・時代区分・表現様式・主題等に関する用語や概念を習得した上で、各期の文学作品や視覚文化の例を、必要に応じて各種先行研究や批評理論、書物史・出版文化等との関連を参照しつつ読解分析し、個々の作品や作者の文学・文化史上の意義や位置づけを検討しつつアメリカ文学・文化の通史的・体系的理解を深める。

513017 英語文学文化史（英語圏・現代）

【到達目標】

- ・イギリス、アメリカ以外の英語圏の文学・文化の歴史的・社会的背景を理解する。
- ・その歴史的・思想的枠組の理解に基づき、主要な文学・文化テキストの特質を広く文化史

的観点から自律的に考察できる力を身につける。

- ・作品分析をめぐる基本的な手法を理解し、それを実践できる実力を涵養する。

【概要】 本講義では、英米以外の英語圏（アジア、アフリカ、オセアニア、カリブ海諸島、カナダなど）とその文学・文化についてその歴史的展開を概観する。これらの広大な英語圏文学・文化の成立と発展に関わる大英帝国拡大と衰退という政治的背景を把握し、それぞれの時代、地域における重要な政治的事件や思潮について考察する。その上で、主要な文学・文化テキストの作者の歴史的役割を検討し、個々の作品の具体的な読解、鑑賞を行う。

【歴史】

514003 日本史概論Ⅰ

【到達目標】

- ・日本の古代・中世史（16世紀まで）に関する基礎的な知見を体系的に習得する。
- ・東アジアとの関連の中に日本列島の歴史を位置づけ、その特質や意義を理解する。

【概要】 古代・中世を中心とした日本の歴史を通観し、日本史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目的を達成するため、日本列島における社会の歴史的変化について、東アジアとの関係を重視しつつ、その特質を考察する。各時期の重要テーマやトピックを中心に、さらにそれらの問題に対する最近の論点・争点も踏まえて検討する。

514004 日本史概論Ⅱ

【到達目標】

- ・日本の近世・近現代史（17世紀から20世紀まで）に関する基礎的な知見を体系的に習得する。
- ・アジア・欧米諸外国との関連の中に日本列島の歴史を位置づけ、その特質や意義を理解する。

【概要】 近世・近現代を中心とした日本の歴史を通観し、日本史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指す。本講義では、上記の目的を達成するため、日本列島における社会の歴史的変化について、アジア・欧米諸外国との関係を重視しつつ、その特質を考察する。各時期の重要テーマやトピックを中心に、さらにそれらの問題に対する最近の論点・争点も踏まえて検討する。

514005 アジア史概論

【到達目標】

- ・東アジア世界の歴史について、基礎的な知見を体系的に習得する。

- ・現在に続く歴史のなかに東アジア史を位置づけ、その特質や意義を理解する。

【概要】 中国を中心とした東アジア地域の歴史を通観し、アジア史を学ぶ上で必要となる基礎的な知識を習得するとともに、当該地域における歴史的事象が現在の諸問題と深く関係を有していることについて理解を深める。そのためにも講義の過程において適宜史料を配布して、実証的に歴史を学ぶことの必要性を強調する。また本講義の狙いは、単にアジア史の概略的知識を習得することだけでなく、世界史あるいは人類史への視点を養うことにも置かれる。

514006 西洋史概論

【到達目標】

- ・西洋史に関する基礎的な歴史知識を習得する。
- ・世界史全体の流れの中にヨーロッパ史を位置づけ、その特質や意義を理解する。

【概要】 ヨーロッパを中心とした西洋の歴史を通観し、西洋史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得を目指すとともに、当該地域においてこれまで生起してきた諸問題について、歴史的視点と現代の視点の両方から考察して理解する姿勢を身につける。本講義では、上記の目標を達成するために、西洋史学上重要とされるトピックに焦点を当てつつ、西洋の歴史を、「ヨーロッパ世界の成立」、「ヨーロッパ世界の変質」、「外部世界との交流と摩擦」、「世界史への影響」という4つの視点を主軸にたどっていく。

■発展講義

【人文学科共通必修】

510101 人文学総合講義

【到達目標】

- ・「人間文化」を巡る共通の問題に対する哲学、言語・文学・歴史のそれぞれのアプローチの相違や接点を理解する。
- ・専攻する領域の方法を相対化した上で、自覚的な「読み方」「論じ方」を身につける。
- ・人文学の可能性を、現代社会を生きる「わたし」という観点から探究する姿勢を身につける。

【概要】 専攻での専門的な修学を一定ていど進めた段階にある3年生を対象に、あらためて、自身の専攻領域が、「人間文化の学」たる人文学として接し合う近隣領域とどのようにつながり、また、学問手法がどのように異なるかを認識させることで、人文学の広がりや豊かさを深く考えさせ、人文学の意義を再確認することを目指す。「人間文化」という共通の柱に基づく人文学科の四つの柱（「哲学」・「言語」・「文学」・「歴史」）に携わる教員達が互いに共通の問題を設定し、具体的なテキストを素材に、「哲学」・「言語」・「文学」・「歴史」

のそれぞれの学問領域に基づく視点や方法に即した読み方の可能性を提示してみせる。人文学科の複数専攻を跨る教員達によるチェーン・レクチャー方式で進める。

【文化】

512101 比較文化 A

【到達目標】

- ・比較文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・越境して入ってくる文化と応答することで築かれた文化および文学について学ぶ。
- ・文化領域相互の影響関係について分析する力を養う。

【概要】 日本の近現代が異文化と向き合うことで形成できた文化・文学について学ぶ。複数の文化が混ざり合うことで新たな文化が形成されるその契機と過程について認識を促し、分析を施す。日本近現代文学に描かれた異文化との遭遇も考究の対象である。さらには、異文化との共同制作といって過言でない日本近現代文化と文学の諸相についても踏み込み、理解を深めたい。

513101 比較文化 B

【到達目標】

- ・英語圏文化研究の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解する。
- ・英語圏文化研究の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を比較文化研究全般に応用できる力を身につける。

【概要】 本講義は、英語圏文化研究の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た比較文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら比較文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。英語論文研究の分野からみた比較文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏に及んだ文化的影響関係を扱う。

512102 表象文化 A

【到達目標】

- ・表象文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・表象文化の歴史的変化を学ぶ。
- ・文化領域相互の影響関係について分析する力を養う。

【概要】 日本の近代は、古来形成されてきた日本の表象文化と、近代を先取りしていた西洋文化との邂逅により始まる。そのことについての理解を構築したうえで、日本の文化総

体・芸術・文学の創生について明らかにしてゆく。文学などの言語表現、写真・美術・映画などの表現について分析しうる方法を実践的に学ぶ。

513102 表象文化 B

【到達目標】

- ・英語圏文化研究の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴と文化的社会的影響を理解する。
- ・英語圏文化研究の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を表象文化研究全般に応用できる力を身につける。
- ・英語圏文化研究の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、表象文化研究を自律的に遂行できる課題探究力を身につける。

【概要】 本講義は、英語圏文化研究の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た表象文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら表象文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。英語圏文化研究の分野からみた表象文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏へ広がりをもせたものを扱う。

512103 メディアと日本文化 A

【到達目標】

- ・日本の近代においてメディアの果たした役割を理解する。
- ・日本近代の主要な雑誌、新聞の変遷について文学史の知識として取り出せるようになる。
- ・メディアによって文学には多様な隣接領域との交流が生まれたことを把握する。

【概要】 19世紀から20世紀にかけてメディアは大きな変貌を遂げる。日本の近代、新聞・雑誌の発行部数の急速な拡大に伴い、海外からの文化の移入も進み、文学運動も推進された。具体的に文学作品、文学評論、文化事象を取り上げ、それらにおける時代の知の影響、あるいは、時代を先導する知の所在を検討する。戦時下においては、総力戦体制に利用されたマス・メディアの負の部分も見逃せない。メディアの歴史的変遷を辿ることで、日本近代の文学・文化の全体像の変遷をも捉える。

512104 メディアと日本文化 B

【到達目標】

- ・日本の近代においてメディアの果たした役割を理解する。
- ・日本近代の主要な雑誌、新聞の変遷について文学史の知識として取り出せるようになる。

・メディアによって文学には多様な隣接領域との交流が生まれたことを把握する。

【概要】 19世紀から21世紀にかけてメディアは大きな変貌を遂げる。日本の近代、新聞・雑誌の発行部数の急速な拡大に伴い、海外からの文化の移入も進み、文学運動も推進された。「メディアと日本文化A」で取り上げたのとは異なる文学作品、文学評論、文化事象を取り上げ、それらにおける時代の知の影響、あるいは、時代を先導する知の所在を検討する。戦時下においては、総力戦体制に利用されたマス・メディアの負の部分も見逃せない。メディアの歴史的変遷を辿ることで、日本近代の文学・文化の全体像の変遷をも捉える。

513103 トランスレーション・スタディーズA

【到達目標】

- ・翻訳学の理論と翻訳実践の基礎を知る。
- ・翻訳学の方法論を用いて、異文化摩擦の諸相を分析し、「翻訳」をめぐる問題をより深く考察することができるようになる。
- ・日英語間の翻訳において、翻訳移入により、その題材が移入先の言語文化に与える影響や生じる摩擦の諸相について知る。

【概要】 トランスレーション・スタディーズは翻訳学や翻訳研究と訳されることもある、比較的新しい学際的学問領域である。様々なアプローチが可能であり、扱う範囲も非常に幅広い。その中から、本講義では、翻訳学入門の基礎的段階として、広い意味での異文化交流・異言語間コミュニケーションを考え理解するうえで、文字として表記された「翻訳」が果たす役割に着目し、考察する手がかりを得ることを目標とする。様々な事例をとりあげ、原文と訳文を細かく対照し分析・研究することにより、日本語と英語、日本語文化と英語文化の摩擦の諸相を明らかにし、両言語および両文化の異同を考察する。合わせて、翻訳移入の結果、ある題材が移入先の言語文化に与える影響についても考える。

513104 トランスレーション・スタディーズB

【到達目標】

- ・通訳学の理論と通訳実践の基礎を知る。
- ・通訳という行為の特質を理解する。
- ・通訳者は具体的にどのような場面で活動するかを理解する。
- ・通訳者という職業においてどのようなスキルが必要かを学ぶ。

【概要】 トランスレーション・スタディーズの多種多様な領域の中から、本講義では、通訳に焦点を当てる。通訳は、高度な母語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。通訳に必要となるこれらの能力や教養を身につけるための基礎的段階として、その性質や運用方法に関する基本的な知見を習得することを目標とする。あわせて、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割、社会的貢献、新たなニーズなどについて、実践的な場面の事例研究を通じて考察し、通訳に

関する学問的基礎とその広がりを理解する。

514101 美術史 A

【到達目標】

- ・題材とされた歴史的美術作品について、特質と価値を理解し、日本をはじめとするアジアの美術史への関心を深める。
- ・題材とされた諸作品について、日本をはじめとするアジアの美術史上での位置づけと意義を知り、作品の背景となった当該期社会との関連を理解する。

【概要】 日本をはじめとするアジア各地に遺された歴史的な絵画や造形物などの諸作品について鑑賞・考察しながら、作品の製作・享受・流通などとその背景にある技術・技巧や社会的観念、信仰、政治的動向などに関しても理解を深める。講義では、地域や時代に即した主題を設定し、題材とする作品を選定して写真・図面などを提示しながら、作品理解へのアプローチを試みる。また、作品を生み出してきた日本をはじめとするアジア諸地域の文化について、理解と関心を促す。

514102 美術史 B

【到達目標】

- ・題材とされた歴史的美術作品について、特質と価値を理解し、西洋美術史への関心を深める。
- ・題材とされた諸作品について、西洋美術史上での位置づけと意義を知り、作品の背景となったヨーロッパの当該期社会との関連を理解する。

【概要】 西洋史上に遺された歴史的な絵画や造形物などの諸作品について鑑賞・考察しながら、作品の製作・享受・流通などとその背景にある技術・技巧や社会的観念、信仰、政治的動向などに関しても理解を深める。講義では、西洋美術史の大きな展開を視野に入れつつ、地域や時代に即した主題を設定し、題材とする作品を選定して写真・図面などを提示しながら、作品理解へのアプローチを試みる。また、作品を生み出してきた西洋世界の文化について、理解と関心を促す。

514103 世界遺産学 A

【到達目標】

- ・題材とされた日本をはじめとするアジアの世界遺産の歴史的背景や文化的意義について基礎的な知識を習得する。
- ・講義でとりあげた世界遺産の保護と活用をめぐる諸問題について基礎的な知識を習得する。
- ・世界遺産学で用いられる多様なアプローチの方法を理解する。

【概要】 日本をはじめとするアジアの世界遺産をいくつかとりあげて、それらの歴史的背

景や文化的意義、保護と活用をめぐる諸問題について論じる。こうした論点から世界遺産の過去と現在を理解して将来を展望するためには、人文学・社会科学・自然科学にまたがる学際的な知見に加えて、異文化理解や国際協力といった国際的視野も求められる。この講義では、世界遺産を学ぶうえで必要となる多様なアプローチの方法について紹介しつつ、とくに歴史学とツーリズムを切り口にして、世界遺産をめぐる諸問題への理解を深める。

514104 世界遺産学 B

【到達目標】

- ・題材とされた西洋の世界遺産の歴史的背景や文化的意義について基礎的な知識を習得する。
- ・講義でとりあげた世界遺産の保護と活用をめぐる諸問題について基礎的な知識を習得する。
- ・世界遺産学で用いられる多様なアプローチの方法を理解する。

【概要】 西洋の世界遺産をいくつかとりあげて、それらの歴史的背景や文化的意義、保護と活用をめぐる諸問題について論じる。こうした論点から世界遺産の過去と現在を理解して将来を展望するためには、人文学・社会科学・自然科学にまたがる学際的な知見に加えて、異文化理解や国際協力といった国際的視野も求められる。この講義では、世界遺産を学ぶうえで必要となる多様なアプローチの方法について紹介しつつ、とくに歴史学とツーリズムを切り口にして、世界遺産をめぐる諸問題への理解を深める。

514105 歴史文化の発展テーマ A

【到達目標】

- ・歴史に関して、発展的な知見を習得する。
- ・日本・アジア・西洋の歴史などを、歴史全体の中に位置づける。

【概要】 文化的側面から「カルチュラル・ヒストリー」など、テーマ別の歴史を基礎・応用、そして全体を俯瞰するような観点から修得することを目指す。当該地域・時代においてこれまで生起してきた諸問題について、テーマ史的な観点から考察して理解する姿勢を身につける。本講義では、上記の目標を達成するために、歴史学上重要とされるテーマ史に焦点を当てて、発展的に学べるようにする。

514106 歴史文化の発展テーマ B

【到達目標】

- ・歴史に関して、発展的な知見を習得する。
- ・日本・アジア・西洋の歴史などを、歴史全体の中に位置づける。

【概要】 現代的側面から「疫病の歴史」など、テーマ別の歴史を基礎・応用、そして全体を俯瞰するような観点から修得することを目指す。当該地域・時代においてこれまで生起

してきた諸問題について、テーマ史的な観点から考察して理解する姿勢を身につける。本講義では、上記の目標を達成するために、歴史学上重要とされるテーマ史に焦点を当てて、発展的に学べるようにする。

514107 歴史文化の発展テーマ C

【到達目標】

- ・歴史に関して、発展的な知見を習得する。
- ・日本・アジア・西洋の歴史などを、歴史全体の中に位置づける。

【概要】 身の回りの観点から「ジェンダー史」などのテーマ別の歴史を基礎・応用、そして全体を俯瞰するような観点から修得することを目指す。当該地域・時代においてこれまで生起してきた諸問題について、テーマ史的な観点から考察して理解する姿勢を身につける。本講義では、上記の目標を達成するために、歴史学上重要とされるテーマ史に焦点を当てて、発展的に学べるようにする。

514108 歴史文化の発展テーマ D

【到達目標】

- ・歴史に関して、発展的な知見を習得する。
- ・日本・アジア・西洋の歴史などを、歴史全体の中に位置づける。

【概要】 政治社会の観点から「戦争の歴史」などのテーマ別の歴史を基礎・応用、そして全体を俯瞰するような観点から修得することを目指す。当該地域・時代においてこれまで生起してきた諸問題について、テーマ史的な観点から考察して理解する姿勢を身につける。本講義では、上記の目標を達成するために、歴史学上重要とされるテーマ史に焦点を当てて、発展的に学べるようにする。

514109 ドイツの歴史と文化 A

【到達目標】

- ・平均的な難度の内容・構文の、ナチス台頭以降敗戦に至るドイツ史に関連するドイツ語の文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身につける。
- ・既習のドイツ語文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身につける。
- ・読解力の向上を通して、ドイツ語文化圏への理解を深める。

【概要】 ドイツ語の読解力の養成と、ナチス台頭以降敗戦に至るドイツ現代史に関する基礎知識の習得、それを通じた広く現代ドイツ語圏文化の理解の深化を目標とする。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすドイツ語圏の歴史・文化への理解を一層深める

ことを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

514110 ドイツの歴史と文化 B

【到達目標】

- ・平均的な難度の内容・構文の、戦間期ドイツ史に関連するドイツ語の文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身につける。
- ・既習のドイツ語文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身につける。
- ・読解力の向上を通して、ドイツ語文化圏への理解を深める。

【概要】 ドイツ語の読解力の養成と、ドイツ現代史（特に戦間期）に関する基礎知識の習得、それを通じた広く現代ドイツ語圏文化の理解の深化を目標とする。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすドイツ語圏の歴史・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

【哲学】

511101 現代社会を哲学する

【到達目標】

- ・科学技術、政治、環境、教育など現代社会が直面する課題が現れる場面について哲学的に考察する力を身につける。
- ・実際の社会問題から哲学的問題を発見する力を身につける。
- ・発見した哲学的問題を吟味する精神を身につける。

【概要】 科学技術、政治、環境、教育など現代社会が直面する課題について、基礎的な知識を蓄えつつ、哲学的な角度から考察し、吟味する力を養うことを目指す。それを通して、哲学的な理論や考察が単に抽象的な知的パズルではなく、自分たち自身の直面している問題に関わるのだということを理解する。

511102 哲学研究の最前線

【到達目標】

- ・現在進行形の最先端の哲学研究についての知識を得る。
- ・「哲学を研究する」ということが、どのようなことなのかを理解する。
- ・結論の定まっていない論争中の哲学的主題について、自分自身の見解を持つことができるようになる。

【概要】 哲学史研究を含む、現在進行形で発展している哲学研究の最前線を具体的な問題に即して取り扱い、研究の状況を知るとともに、「哲学を研究する」ということがどのようなことなのかを理解することを目指す。また、それを通じて、論争中の主題について自身自身の見解を作り上げるやり方を身につける。

511103 現代の倫理

【到達目標】

- ・ 倫理学の基礎を参照しつつ、現代特有の倫理学的主題について知識を得る。
- ・ 現代の倫理的問題について、理論的に分析する方法を身につける。
- ・ 具体的な倫理的場面への関わり方について議論する力を養う。

【概要】 生命倫理や科学技術倫理などの狭義の「応用倫理学」だけでなく、差別、政治制度、そして個人の生き方など様々な場面において、現代人特有の倫理的問題が存在する。それらの倫理的問題を理解するとともに、自分の置かれた立場から哲学的、倫理学的に議論することの意義や難しさについて理解することを目指す。

511104 日本と東洋の美学

【到達目標】

- ・ 日本と東洋の美学についての基礎的な素養をいっそう身につける。
- ・ 19 世紀以後の西洋近代化の日本と東洋の美学への影響および「東洋」という枠組みの人為性の美学的問題について理解する。
- ・ 日本と東洋の具体的な美的芸術現象についての美学的理解を深める。

【概要】 西洋美学・哲学の影響下に始まる近代以後の日本の美学思想のその独自な位相かつまた「非西洋」としての「東洋」という概念の問題性にも注意を払いつつ、日本と中国を中心とする非西洋世界の美学について、これと関る美的・芸術現象にも具体的に触れつつ、理解を深める。

511105 西洋の美学

【到達目標】

- ・ 西洋美学を学ぶのに必要な基礎的素養をいっそう身につける。
- ・ 現代の美学のその西洋的起源について理解する。
- ・ 具体的な美的芸術現象に即した美学的知識を身につける。

【概要】 芸術および美的なものを巡る思想の現在と未来を正確に見定めることも視野に入れつつ、その思想の直接の起源でもある 18 世紀西欧美学について、当時の絵画・音楽・文学等の芸術作品にも具体的に触れながら、理解を深める。

511106 ジェンダーの哲学

【到達目標】

- ・ジェンダーに関わる哲学的問題を理解する。
- ・フェミニズムの哲学の基礎を理解する。
- ・具体的な現象や問題をジェンダーの視点から哲学的に分析する力を身につける。

【概要】 科学、芸術、倫理など様々な問題をジェンダーの視点から分析し、哲学的に論じる力を身につけることを目指す。合わせて、フェミニズムの哲学の歴史や基礎的概念についても、具体的問題に即して触れつつ、理解を深める。

【言語】**512105 日本語の歴史特論 A****【到達目標】**

- ・日本語の歴史的研究について、形態的側面（音声、文字、文法）に関する新たな研究動向に基づく知見を理解する。
- ・日本語の歴史的研究に資する文献資料や日本語歴史コーパスについて正確な知識を身につけるとともにその扱いについて理解する。

【概要】 日本語の歴史的研究には、さまざまな領域があり、新たな手法も開拓されている。この授業では、主に形態的な側面、すなわち、音声・アクセント、文字・表記、文法（活用）といった領域で、特に注目される研究手法について、具体的な言語データを用いつつ解説する。言語データは、文献資料、日本語歴史コーパスおよび方言資料等を用いるが、それぞれの特性や使用上の注意点などにも言及し、理解を深めるようにする。

512106 日本語の歴史特論 B**【到達目標】**

- ・日本語の歴史的研究について、意味的側面（語彙）及び文章、文体、敬語、辞書等に関する新たな研究動向に基づく知見を理解する。
- ・日本語の歴史的研究に資する文献資料や日本語歴史コーパスについて正確な知識を身につけるとともにその扱いについて理解する。

【概要】 日本語の歴史的研究には、さまざまな領域があり、新たな手法も開拓されている。この授業では、語彙、古語の意味、古辞書といった領域もしくは文章、文体、敬語等に関わる領域で、特に注目される研究手法について、具体的な言語データを用いつつ解説する。言語データは、文献資料、日本語歴史コーパスおよび方言資料等を用いるが、それぞれの特性や使用上の注意点などにも言及し、理解を深めるようにする。

512107 現代日本語特論 A**【到達目標】**

- ・普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を養う。
- ・日本語学の各分野について、共時的・通時的観点から捉える力を身につける。

【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。特に現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるように導く。共時的観点のみならず通時的観点からの考察も重視し、研究史を踏まえた見方ができるようにする。

512108 現代日本語特論 B

【到達目標】

- ・普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考える力を身につける。
- ・日本語学の各分野について、応用分野も視野に入れながら、自ら考察する力を身につける。

【概要】 我々が普段使用している日本語を内省し、その仕組みについて深く考えることを目標とする。現代日本語を対象に、日本語学で議論されているトピックについて、講ずる。日本語を観察し、その性質を明らかにする過程を示すことで、学生が自ら研究を進めることができるよう導く。対照言語学的視点や、国語教育・日本語教育・コンピュータによる日本語処理等への応用も視野に入れた分析を行う。

512109 社会言語学（日本語）

【到達目標】

- ・日常的にげなく使っている「ことば」の実態や運用に対する問題意識を持つ姿勢を身につける。
- ・「ことば」の多様性を客観的に捉え、探究する力を培う。

【概要】 社会生活の中での言語の諸相とそのとらえ方について、主に日本語の具体事例を取り上げながら学ばせる。日本語の変種を、地理的変異、年齢差、性差、場面差などの多角的な視点からとらえ、表現形式や談話構造のバリエティを探っていく。ことばの規範、アイデンティティとことばとの関係を言語意識の側面からとらえ、コードスイッチング、コミュニケーションストラテジー、敬語選択などの言語運用に具現されていく状況を、背後で作用している様々な社会文化的要因を視野に入れながら考えていく。

513105 社会言語学（英語）

【到達目標】

- ・言語使用者の属性および言語使用の状況などと言語の変異の多様な関係を理解する。
- ・現実の社会、特に英語圏において存在している言語の諸問題を分析する力を養成する。

【概要】 言語と社会の関わりを多角的に考察し、私たちが今日直面する言語問題が何かを理解するとともに、日常生活における言語行動の意味を自覚的に捉える態度を養うことを

目的とする。具体的には、英語について、言語使用者（出身地・社会階層・年齢・性別・民族的バックグラウンドなど）と言語使用（レジスターなど）がどのような言語変異を生み出しているかを考察する。社会言語学の基本的な概念を論じ、その観点から英語の諸相を概観するための授業である。

513106 英語学（意味・語用論）

【到達目標】

- ・意味論の基本的な概念を理解する。
- ・英語の「意味」を分析できる力を養成する。
- ・語用論の基本的な概念を理解する。
- ・英語を発話のレベルで分析できる力を養成する。

【概要】 「意味する」ことの意味を問うための授業である。日常的に使われる英語の持つ「意味」はどのように構成されているか、具体的用例の分析を通して、英語の「意味」の成り立ちへの理解を深め、意味論への導入を行うことを目的とする。単語レベルの意味と文レベルの意味、同意・反意・矛盾などの論理的意思、含意・ニュアンスなどのプラスアルファの意味、修辞学的意思、意味変化のメカニズムなど、意味の諸相を論じる。さらに、実際の英語使用の場面で用いられる英語表現は、文字通りの意味とは別に、様々なコミュニケーション上の役割を担っている。英語使用の様々な場面におけるコミュニケーションのメカニズムについて理解を深め、語用論への導入を行う。

513107 英語学（音韻論）

【到達目標】

- ・「音声学」との違い、および「音韻論」の研究対象と研究方法を理解する。
- ・「音素」という概念について理解する。
- ・「母音」「子音」「半母音」などの音声的特質と機能について理解する。
- ・英語の音構成（音素システム）や音節構造を理解する。
- ・英語の強勢パターンやイントネーションの働きについて理解する。

【概要】 母音や子音の音声的特質と役割の違い、言語ごとの音の種類や音節構造の違い、言語使用者による音声の認知や識別などの問題を探ることによって、言語における「音声の働き」について、英語の音声を中心に学ぶ。「音素」という概念を理解することが基本となるが、個別音だけでなく、「超分節音素」と言われる強勢やイントネーションの特徴や働きについても、英語を中心に考察する。音韻論には、これまでさまざまな理論や学説が提唱されてきたが、それらの理論的な側面にも一部触れる。

513108 英語学（形態・統語論）

【到達目標】

- ・形態論・統語論に関する基本的な知識を習得する。
- ・主に英語の形態論・統語論に関わる現象に対する先行研究における分析方法や、それらの特徴を理解する。
- ・上記2点を通じて、英語の構造の特徴を理解する。

【概要】 主に英語の資料をもとに、単語レベルでの音と意味の結びつき、文レベルでの音と意味の結びつきに関する規則の体系を概観する。主に 1980 年代以降の先行研究を参照しながら具体的な資料を客観的に分析する手法を学び、考察を加える。英語、日本語、その他の言語の多様な形態・統語現象の中に規則性を発見し、人間の脳に内在する認知能力の一部を成す文生成のメカニズムを探る。

513109 英語史

【到達目標】

- ・古英語から現代英語に至る英語の発達の歴史を学ぶことによって、英語における言語変化とその時代の社会・文化的背景を理解する。
- ・英語の特質を歴史的な観点から考察し、分析する力を養成する。

【概要】 アングロサクソン人のブリテン島渡来を契機とする英語の発祥（古英語）から、その後の変遷（中英語～初期近代英語～現代の英語）と国際語への拡がりに至る過程を辿り、内的・外的要因による様々な変化を概観して、人間言語のひとつとしての英語の通時的な姿を学ぶ。その上で現代英語との関連を考えながら過去の英語の姿を観察し、英語に起きた変化と各時代の社会的・文化的背景との関係を考えることによって、現代英語および言語と社会の関係についての知見を深める。

513110 第二言語習得理論

【到達目標】

- ・Students will be able to describe key ideas from major language learning theories.
主な言語学習理論の主要な概念を説明できるようになる。
- ・Students will be introduced to teaching methods that were developed from these theories.
これらの理論に基づいて開発された教授法についての知見を得る。

- ・Students will undertake group research to evaluate English language teaching methods used in Japan, and describe what theories underpin these approaches.
日本で行われている英語教授法を評価するためのグループ研究を行い、どのような理論に基づいているのかを説明できるようになる。

【概要】 The focus of this course is on prominent theories from the field of second language acquisition that attempt to describe how languages are learned. Students will be able to describe learning theories such as behaviourism,

sociocultural theory and cognitive processing. The course will be of interest to those students wishing to become language teachers as well as students with a general interest in second language learning.

本講義は、言語がどのように学ばれるかを説明する第二言語の著名な理論に焦点を当てる。行動主義、社会文化理論、認知処理などの学習理論を紹介する。本講義は、語学教員を目指す学生はもちろん、第二言語習得と外国語教育に関心を持つ学生も対象としている。

513111 第二言語教育法

【到達目標】

- Students will analyse different teaching approaches for key features.
様々な教授法の特徴を分析できるようになる。
- Students will evaluate the rationale underpinning different teaching methods.
異なる教授法の論拠を評価できるようになる。
- Students will reflect on their own language learning and consider which approaches were most beneficial to their language learning goals.
自分の語学学習を振り返り、どのようなアプローチが自分の語学学習の目標に最も有益であったかを考察できるようになる。

【概要】 This course focuses on the most common approaches used in the teaching of second/foreign languages. Students will compare and contrast different teaching methods including: grammar translation, communicative approach and focus-on-form. Students will reflect on their own language learning histories and evaluate the effectiveness of various teaching approaches. The course will interest those students wishing to become language teachers as well as students with a general interest in second language learning.

本講義は第二言語/外国語教育で使用される最も一般的なアプローチに焦点を当て、学生は、文法訳読法、コミュニカティブアプローチ、フォーカス・オン・フォームなど、さまざまな言語指導法を対照比較する。学生は自分の言語学習履歴を振り返り、様々な教育アプローチの有効性を評価する。本講義は、語学教員を目指す学生はもちろん、第二言語習得と外国語教育に関心を持つ学生も対象としている。

【文学】

512110 奈良平安の文学 A

【到達目標】

- 日本の奈良平安文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。

- ・日本の奈良・平安の文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の奈良・平安の文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の奈良平安の文学（七世紀ごろ～十一世紀ごろ）について、基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、奈良平安文学の世界にふれる。奈良平安の文学は、社会のどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかから生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。奈良・平安の文学の作品に即して、漢文学や史実、民俗学その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら奈良・平安文学の特徴と達成について、考えていく。

512111 奈良平安の文学 B

【到達目標】

- ・日本の奈良平安文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の奈良・平安の文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の奈良・平安の文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の奈良平安の文学（七世紀ごろ～十一世紀ごろ）について、「奈良平安の文学 A」とは異なる角度から取り上げて基本的な知識を学び、かたがた作品を実際に読むことを通じて、奈良平安の文学の世界にふれる。奈良平安の文学は、社会のどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかから生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。奈良平安の文学の作品に即して、漢文学や史実、民俗学その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとにしながら奈良平安文学の特徴と達成について、考えていく。

512112 鎌倉室町の文学 A

【到達目標】

- ・日本の鎌倉室町文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の鎌倉室町文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の鎌倉室町文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の鎌倉室町の文学（十二世紀～十六世紀ごろ）について、基本的な知識を学び、作品を実際に読むことを通じて、鎌倉室町の文学や文化・芸能の世界に触れる。劇的な転換期であった院政期以降の時代に、どのような文学的土壌や社会情勢、文学史的動態の中からそれぞれの作品が生まれたのか。また、故にどのような特徴を有しているのか。個々の作品に即し、漢文学や歴史学等周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈を基にしながら、鎌倉室町文学の特徴と達成について考えていく。

512113 鎌倉室町の文学 B

【到達目標】

- ・日本の鎌倉室町文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の鎌倉室町文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の鎌倉室町文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の鎌倉室町の文学（十二世紀～十六世紀ごろ）について、「鎌倉室町の文学 A」とは異なる視点から作品を実際に読むことを通じて、鎌倉室町の文学や文化・芸能の世界に触れる。劇的な転換期であった院政期以降の時代に、どのような文学的土壌や社会情勢、文学史的動態の中からそれぞれの作品が生まれたのか。また、故にどのような特徴を有しているのか。個々の作品に即し、漢文学や歴史学等周辺知識も援用しながら読み解き、鎌倉室町文学の特徴と達成について考えていく。

512114 江戸の文学 A

【到達目標】

- ・日本の江戸文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の江戸文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の江戸文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の江戸文学（十七世紀ごろ～十九世紀ごろ）をとりあげて、基本的な知識を学び、作品を実際に読むことを通じて、江戸の文学や芸能の世界にふれる。江戸時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで、それぞれの作品が生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を有しているのか。作品に即して、中国文学、歴史その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとに、江戸文学の特徴と達成、それを育んだ文化について、考えていく。

512115 江戸の文学 B

【到達目標】

- ・日本の江戸文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の江戸文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の江戸文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の江戸文学（十七世紀ごろ～十九世紀ごろ）について、「江戸の文学 A」とは異なる角度からとりあげて、基本的な知識を学び、作品を実際に読むことを通じて、江戸の文学や芸能の世界にふれる。江戸時代におけるどのような文学的土壌や、社会情勢、慣習などのなかで、それぞれの作品が生まれたのか。また、それゆえのどのような特徴を

有しているのか。作品に即して、中国文学、歴史その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとに、江戸文学の特徴と達成、それを育んだ文化について、考えていく。

512116 日本近現代文学 A

【到達目標】

- ・日本の近現代文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の近現代文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の近現代文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の近現代文学（十九世紀後半～）について、基本的な知識を学び、作品を読むことを通じて、日本の近現代の諸相にふれる。文学的土壌のうえに起こった明治開化期以降の社会情勢のなかで、それぞれの作品の成立に踏み込み、その特徴を捉える。作品に即して、同時代史その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとに、日本近現代文学の達成、ならびに、背後にある文化について考えていく。

512117 日本近現代文学 B

【到達目標】

- ・日本の近現代文学の特徴や、それを生み出した文学的土壌、社会背景などについて理解する。
- ・日本の近現代文学を解釈するための、基本的な知識や見解を習得する。
- ・日本の近現代文学を批評的に読み味わう力を養う。

【概要】 日本の近現代文学（十九世紀後半～）について、「日本近現代文学 A」とは異なる視点から、基本的な知識を学び作品を読むことを通じて、日本の近現代の諸相にふれる。文学的土壌のうえに起こった明治開化期以降の社会情勢のなかで、それぞれの作品の成立に踏み込み、その特徴を捉える。作品に即して、同時代史その他の周辺知識も援用しながら読み解き、その解釈をもとに、日本近現代文学の達成、ならびに、背後にある文化について考えていく。

512118 中国と日本の文学文化 A

【到達目標】

- ・中国文学の多様なジャンルと中国文学における作家と社会との関係について理解する。特に、近代中国における文学のジャンル形成・受容の持った意味について考察し理解する。
- ・まとまりをもった文章（原文）を精読することによって、中国文学及び日本文学の作品を深く理解する。さらに、読解力の向上を通して日本及び中国語文化圏への理解を深める。
- ・明治期から戦中期までの文化交流・政治的摩擦・戦争等のもたらした意味を中心に考察を深め、日本と中国の文学・文化の関係性について多角的に理解する。

【概要】 近代における中国文学と日本文学のかかわりを中心に、両文化の交流の様相や相

違点などについて多角的に考察する。初級で習得した中国語の能力を応用して実際に中国と日本の文学作品等を読み解き、さらに積極的な意見発表・問題提起を行うことを重視する。主な検討対象は明治期以降戦前・戦中期の文学・文化（小説・詩・評論その他）とするが、必要に応じて前近代の古典文化・文学についても参照する。併せて近現代における日中関係や中国の文化社会的背景の理解にも留意し、総合的に日本文化と中国文化への理解を深める。

512119 中国と日本の文学文化 B

【到達目標】

- ・中国文学の多様なジャンルと中国文学における作家と社会との関係について理解する。更に、20 世紀後半の中国と日本における文学・文化の発展が相互に与えた影響について考察し理解する。
- ・まとまりをもった文章（原文）を精読することによって、中国文学及び日本文学の作品を深く理解する。さらに、読解力の向上を通して日本及び中国語文化圏への理解を深める。
- ・現代中国と現代日本の間の文化的な接触や政治的な断絶等に留意し、日本と中国の文学・文化の関係性について総合的に理解する。

【概要】 現代における中国文学と日本文学のかかわりを中心に、両文化の交流の様相や相違点などについて多角的に考察する。初級で習得した中国語の能力を応用して実際に中国と日本の文学作品等を読み解き、さらに積極的な意見発表・問題提起を行うことを重視する。主な検討対象は戦後の文学や文化（小説や評論から映画・演劇等まで含む）とするが、必要に応じて近代の文化現象や前近代の古典文化・文学についても参照する。併せて近現代における日中関係や中国の文化社会的背景の理解にも留意し、総合的に日本文化と中国文化への理解を深める。

513112 英語文学文化 A

【到達目標】

- ・英語圏における演劇という表象ジャンルについて基礎的な知識を獲得する。
- ・英語で書かれた作品原典を読解し、歴史・文化・社会背景や批評理論を参照しつつ、基本的な読解・分析方法を習得する。
- ・演劇テキストが同時代および異なる時代や地域の文化において、どのような意味を持ちうるかを理解する。

【概要】 演劇および関連の深い文学ジャンルの特質を考察し、演劇テキストが多様な時代や領域の英語圏文化において、どのような意味を持ちうるかを理解する。具体的には、代表的な作品を取り上げ、英語原典の読解分析を行い、必要に応じて、演劇テキストの構成や言語表現の特徴、同時代の関連作品例、戯曲と実際の上演との関係、受容・アダプテーションの態様、歴史・文化・社会的背景との関連等、演劇テキストを読み解く視座の一端

に注意を払い、上演例など関連映像や現代批評理論を用いた分析方法を参照しつつ、作品の文学・文化・社会的意味を考察する。

513113 英語文学文化 B

【到達目標】

- ・英語圏における児童文学および関連の深い各ジャンルの文学の特質を理解する。
- ・作品をめぐる歴史・文化・社会的背景を多角的に理解する。
- ・作品を自律的に読解分析する基礎力を涵養する。

【概要】 英語圏の児童文学および関連の深い各ジャンルの文学の特質を論じる。リアリズムやファンタジー、ヤングアダルト小説や幼年向きの読み物等の作品を、歴史・文化・社会的背景や受容・アダプテーションの例、視覚文化との関連等も必要に応じて参照しつつ読み解く。人種、階級、ジェンダー、セクシュアリティ等の視座からの作品分析と解釈も試み、個々の作品のみならず、作品を成立させた大きな文化・歴史的コンテクストのより深い理解を得る。

【歴史】

514111 日本古代史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、その論点と議論の過程を理解し、成果と課題を知る。
- ・設定された主題に関する史料について、その類型や具体的な内容を自分自身で理解できるようになる。

【概要】 日本古代を対象に、国家の構造や政治過程、人と人との結びつき方や諸集団のあり方、富の生産・分配の仕組み、諸集団で生み出される多様な慣習・文化・宗教、また列島内外の人々の移動や交易・交渉・戦争などの諸側面から主題を設定し、これについて最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的な日本古代史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514112 日本中近世史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、その論点と議論の過程を理解し、成果と課題を知る。
- ・設定された主題に関する史料について、その類型や具体的な内容を自分自身で理解できるようになる。

【概要】 日本中近世を対象に、国家の構造や政治過程、人と人との結びつき方や諸集団のあり方、富の生産・分配の仕組み、諸集団で生み出される多様な慣習・文化・宗教、また列島内外の人々の移動や交易・交渉・戦争などの諸側面から主題を設定し、これについて

最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的な日本中近世史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514113 日本近現代史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、その論点と議論の過程を理解し、成果と課題を知る。
- ・設定された主題に関する史料について、その類型や具体的な内容を自分自身で理解できるようになる。

【概要】 日本近現代を対象に、国家の構造や政治過程、人と人との結びつき方や諸団体のあり方、富の生産・分配の仕組み、諸団体の生み出される多様な慣習・文化・宗教、また国家間の貿易や外交・戦争などの諸側面から主題を設定し、これについて最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的な日本近現代史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514114 日本古代史料論

【到達目標】

- ・日本古代の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・日本古代の史料を読解する上で必要な基礎知識を身につける。

【概要】 日本古代史を考察する際に必要な様々な史料について、その全体の概略を理解するとともに、その読解の前提となる基礎知識の習得を図る。具体的には、律令格式、六国史、古記録、儀式書、古文書などを概観し、それらを読解するための基礎的な方法を身につける。また、それらの史料にアクセスする方法についても習得する。

514115 日本中近世史料論

【到達目標】

- ・日本中世・近世の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・日本中世・近世の史料を読解する上で必要な基礎知識を身につける。

【概要】 日本中近世史を考察する際に必要な様々な史料について、その全体の概略を理解するとともに、その読解の前提となる基礎知識の習得を図る。具体的には、各政治主体や各階層が残した文書、記録、著作物、刊行物などを概観し、それらを読解するための基礎的な方法を身につける。また、それらの史料にアクセスする方法についても習得する。

514116 日本近現代史料論

【到達目標】

- ・日本近現代の史料について、諸類型とそれらの特質を把握する。
- ・日本近現代の史料を読解する上で必要な基礎知識を身につける。

【概要】 日本近現代史を考察する際に必要な様々な史料について、その全体の概略を理解するとともに、その読解の前提となる基礎知識の習得を図る。具体的には、公文書、私文書（日記・書簡）、刊行物（新聞・雑誌）、錦絵、写真、音声、映像、オーラルヒストリーなどを概観し、それらを読解するための基礎的な方法を身につける。また、それらの史料にアクセスする方法についても習得する。

514117 中国史 A

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を習得し、中国史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 中国は紀元前からの長期にわたる歴史を有し、また日本をふくむ東アジア地域全体に多大な影響を与えてきた。皇帝支配と官僚制、富の生産・分配の仕組み、人びとの移動や交易、近代欧米勢力の侵蝕、半植民地化と民族運動、中国革命、また地域独自の展開や周辺地域との関係など、政治・経済・社会に関する主題を設定し、これについての最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的な中国史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514118 中国史 B

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を習得し、中国史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 中国は紀元前からの長期にわたる歴史を有し、また日本をふくむ東アジア地域全体に多大な影響を与えてきた。儒教・道教をはじめとする多様な宗教・思想、東アジアに広く受容された文字・文学・書道、諸文明との交流によりもたらされた様々なモノ・技術・情報、また人と人との結びつき方や諸集団で生み出される多様な社会慣習・生活様式など、文化・宗教・社会に関する主題を設定し、これについての最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的な中国史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514119 アジア地域史 A

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識や最近の論点を習得し、アジア諸地域の歴史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果や、関連史料の内容や解釈を自分自身で理解できるようになる。

【概要】 多彩な集団や文化で構成されるアジアの諸地域のなかから対象を選び、地域独自

の歴史的展開や周辺地域との関係、近代ヨーロッパ世界との接触・侵蝕、植民地化と民族運動、支配の構造や政治過程の変遷、富の生産・分配の仕組み、人びとの移動や交易など、政治・経済・社会に関する主題を設定し、これについての最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的なアジア史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514120 アジア地域史 B

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識や最近の論点を習得し、アジア諸地域の歴史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果や、関連史料の内容や解釈を自分自身で理解できるようにする。

【概要】 多彩な集団や文化で構成されるアジアの諸地域のなかから対象を選び、諸階層で生み出される多様な文化とその発展、人びとにはたらきかけるヒンドゥー教やイスラームなどの営み、シルクロードを通じたモノ・技術・情報の伝播と交流、また人と人との結びつき方や諸集団で生み出される多様な社会慣習・生活様式など、文化・宗教・社会に関する主題を設定し、これについての最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的なアジア史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514121 ギリシア・ローマ史

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を習得修得し、ギリシア・ローマ史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 ギリシア・ローマを中心に古代地中海世界の歴史を通観し、ギリシア・ローマ史を学ぶ上で必要となる基礎知識の体系的な習得をめざす。本講義では、上記の目標を達成するために、ギリシア・ローマ史研究における重要なトピックに焦点をあてつつ、ギリシア・ローマの歴史を概ね時系列に沿って講述する。また、古代地中海世界におけるギリシア・ローマの位置や役割に光をあてると共に、ギリシア・ローマが後代の西洋世界にあたえた影響のありようを概観することによって、ギリシア・ローマ史を世界史の文脈のなかに位置づけることを目指す。

514122 ヨーロッパ地域史 A

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を習得し、ヨーロッパ史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 ヨーロッパは長期にわたる歴史を有し、また世界史上の出来事にも多大な影響を与えてきた。皇帝権力と教会権力とのせめぎあい、領域支配の多義性、交易をはじめアジア・アフリカなどへの植民地化の歴史、各地域独自の歴史的な展開や周辺地域との関係など、政治・経済・社会に関する主題を設定する。とくに政治・社会的な側面からヨーロッパについて考究する。同時に、最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的なヨーロッパ史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514123 ヨーロッパ地域史 B

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を習得し、ヨーロッパ史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 ヨーロッパは長期にわたる歴史を有し、また世界史上の出来事にも多大な影響を与えてきた。皇帝権力と教会権力とのせめぎあい、領域支配の多義性、交易をはじめアジア・アフリカなどへの植民地化の歴史、各地域独自の歴史的な展開や周辺地域との関係など、政治・経済・社会に関する主題を設定する。とくに宗教・文化的な側面からヨーロッパについて考究する。同時に、最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的なヨーロッパ史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514124 ヨーロッパ地域史 C

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を習得し、ヨーロッパ史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 多彩な集団や文化で構成されるヨーロッパの諸地域のなかから対象を選び、地域独自の歴史的展開や周辺地域との関係、産業革命や市民革命などの諸革命、アジアやアメリカとの接触や植民地化と、支配構造や政治過程の変遷、人びとの移動や交易など、政治・経済・社会に関する主題を設定する。たとえば文化事例などについての最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的なヨーロッパ史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514125 ヨーロッパ地域史 D

【到達目標】

- ・設定された主題に関し、基礎的な知識を習得し、ヨーロッパ史への理解を深める。
- ・設定主題に沿って提示された諸研究の成果、関連史料の解釈を理解する。

【概要】 多彩な集団や文化で構成されるヨーロッパの諸地域のなかから対象を選び、地域独自の歴史的展開や周辺地域との関係、産業革命や市民革命などの諸革命、アジアやアメリカとの接触や植民地化と、支配構造や政治過程の変遷、人びとの移動や交易など、政治・

経済・社会に関する主題を設定する。たとえば、政治・社会についての最新の研究成果や具体的な史料を踏まえつつ考察することによって、専門的なヨーロッパ史研究への理解と興味関心を深めることを目指す。

514126 世界史資料論（アジア）

【到達目標】

- ・アジア諸地域に関する多様な歴史資料について、その種類や特質を把握し読解のための基礎知識を身につける。
- ・歴史資料にもとづくアジア史研究のあり方や、これまで提唱・実践されてきた理論や方法について基礎的知識を習得する。

【概要】 アジア史を考察する上で必要となる様々な歴史資料について、その全体像や個々の資料の特質について概要を把握するとともに、資料を扱う上での理論や方法論を身につける。また、その資料を読解するための基礎的知識を習得し、資料に基づいて歴史を探究する手法を実践的に学び取る。さらに、取り上げる歴史資料には文字資料だけではなく美術・考古等の諸資料も対象に含め、あるいはそれらを扱った最新の研究成果も取り入れて、多様な資料への取り組みやアプローチのあり方を学ぶ。

514127 世界史資料論（ヨーロッパ）

【到達目標】

- ・ヨーロッパ諸地域に関する多様な歴史資料について、その種類や特質を把握し読解のための基礎知識を身につける。
- ・歴史資料にもとづくヨーロッパ史研究のあり方や、これまで提唱・実践されてきた理論や方法について基礎的知識を習得する。

【概要】 ヨーロッパ史を考察する上で必要となる様々な歴史資料について、その全体像や個々の資料の特質について概要を把握するとともに、資料を扱う上での理論や方法論を身につける。また、その資料を読解するための基礎的知識を習得し、資料に基づいて歴史を探究する手法を実践的に学び取る。さらに、取り上げる歴史資料には文字資料だけではなく美術・考古等の諸資料も対象に含め、あるいはそれらを扱った最新の研究成果も取り入れて、多様な資料への取り組みやアプローチのあり方を学ぶ。

514128 パブリック・ヒストリー

【到達目標】

- ・歴史学の成果が、どのように伝わっているかについての知見を得る。
- ・歴史学の成果を、どのように伝えるかについての知見を得る。

【概要】 歴史学が社会に向けて、どのように伝えられているか、どのように伝えられるかについて考える。博物館展示や教育のみならず、小説、アニメーション、マンガなどでも、

歴史は扱われている。その現状と課題についての知見を提示し、公共における「歴史実践」について考える。また、歴史実践者としての学生それぞれも、本科目を通じて歴史の伝え方、伝えられ方について考える。

514129 考古学

【到達目標】

- ・発掘調査と研究による成果や方法論を理解し、人類の歴史をより広い視野から考える基礎知識を習得する。
- ・遺跡や遺物の保存の重要性と考古学が果たす役割を理解し、文化財を尊重する姿勢を身につける。
- ・遺跡や遺物の保存の重要性と考古学が果たす役割を理解し、異文化とその文化財を尊重する姿勢を身につける。

【概要】 考古学の成果と方法論を学び、歴史学をより広い視野で研究するための基盤とする。この講義では、発掘調査と研究の成果を素材とし、設定主題に即した遺構・遺物を取り上げて、諸研究を批判的に検討し、最新の知見をまじえながら論じる。あわせて、遺跡・遺物や発掘調査報告書に関する情報の検索方法を教示し、考古資料の解読・分析の方法を具体的に提示する。

510102 人文地理学

【到達目標】

- ・人文地理学の研究対象を理解し、その研究方法を習得する。
- ・地図の活用方法を習得する。
- ・将来、地理教育の現場に立った際、調べ学習などの教材になりうるテーマを習得する。

【概要】 人文地理学の主要分野である地理教育史・歴史地理学・社会文化地理学を取り上げる。まずは、地理教育と地理教科書の歴史を学ぶ。続いて、歴史地理学・社会文化地理学の視点から、日本ならびに世界各地の事例を用いて、都市・宗教・ジェンダー・エスニシティなどの問題を考察する。

510103 自然地理学

【到達目標】

- ・自然環境および自然災害を地理学的に捉え理解する。
- ・地球環境変動および地震災害の原因と実態について理解する。
- ・地形図と空中写真を用いた地形判読をする知識と技術を身につける。

【概要】 自然環境および自然災害を地理学的に解析することを目標とする。地球環境変動および地震・地震災害の原因と実態について理解するために、地球温暖化、ヒートアイランド現象、エルニーニョ現象とラニーニャ現象、プレート境界型地震、活断層型地震など

のテーマを取り上げる。地形図と空中写真を用いた地形判読の実習を行う。

510104 地誌学

【到達目標】

- ・地理を担当する教師として、多様な地域の地誌を教えるための基礎的な理論と方法を身につける。
- ・目的に応じて統計データを選択、加工する方法を取得する。
- ・変化する世界情勢に関心を持ち、既存の社会認識に対する新たな視点を獲得する。

【概要】 地理学・人類学・民俗学・経済学・歴史学などの学問分野と複層的に関連する地誌を学ぶ。なじみの薄いと思われる地域も積極的に取り上げ、多角的な視野から日本と世界の地誌を理解する力を身につける。講義では、地誌学を学ぶために統計データを取得する方法や、必要な資料をデータから抽出・作成する方法、地図の読み方なども習得する。

■基盤演習

【人文学科共通必修】

510201 人文学基礎演習

【到達目標】

- ・自身の考えを明瞭に表現し、また、相手の説明・主張を正確に理解し応答する力量を養う。
- ・人文学領域の課題に関する文献や資料の情報を収集する手法を、習得する。
- ・参照した人文学関係の文献・資料を踏まえて、複眼的に考察する力を身につける。
- ・自身の考察を、筋道立てて構成・記述する力を身につける。

【概要】 各クラスにおいて、人文学の各専門領域に応じて設定された課題にグループ・ワークで取り組み、演習形式の授業のなかで、わかりやすい説明や提示(参照用プリントの作成など)の仕方、相手への意見の述べ方や討議の仕方を学び、人文学の知のあり方を理解する。人文学領域の文献・資料の内容に即して、他者の意見もふまえながら複眼的に考察し、根拠をもとに自らの意見を表現することを学ぶ。また、人文学の文献や資料に関する情報の収集法、レポート作成に際して求められる引用の作法などについても、実践的に習得する。

【文化】

512201 日本文化演習(くずし字)

【到達目標】

- ・「くずし字」を読みこなすための基礎的な能力を身につける。

- ・文学作品およびその関連資料の、翻刻・活字化される以前の諸形態にも注目できるような姿勢を養う。

【概要】 古典文学を研究するために、自ら作品の原本を確認、分析する必要があるのは言うまでも無いが、書かれている文字（いわゆる「くずし字」）が読めなければ、それは不可能である。結果、他の研究者が翻刻した活字資料に抛らざるを得なくなるが、それははたして真に専門的に研究していることになるのであろうか。これは何も古典文学に限ったことではない。近代文学であっても、作家の草稿や書簡、色紙への染筆などの自筆資料で「くずし字」が使われているものがある。読めないからといってそれらを素通りして、本当に作家その人を知ることになるのだろうか。この授業では、こうした原本を解読するために必要不可欠な技能、すなわち「くずし字」を読みこなすための能力の基礎を養う。

512202 日本文化演習（古典と現代）

【到達目標】

- ・古典の現代的意義について自らの意見を構築してわかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を構築する力を養う。
- ・古典の世界に触れた目を通して現代を批判的に見ることができるような姿勢を養う。

【概要】 古典を読むことが古人の知に触れることであるのは間違いないが、深く理解し受け継いでゆくだけでなく、現代社会においてそのことがいかなる意義を有するのかを常に問い直してゆくこともまた重要である。この授業では、現代において古典を読むことがもつ意味や、それを通じて見えてくる問題点などについて考え、調べ、議論することを通じて、現代における古典の意義をあらためて見直し、古典を通じて現代を考える姿勢とそのための知識を涵養する。

512203 日本文化演習（古典籍）

【到達目標】

- ・古典籍の原本調査を行う上でのノウハウを身につける。
- ・書誌学の方面からも古典作品が分析できるようになる。

【概要】 古典文学を真に専門的に研究するためには、他の研究者が翻刻した活字資料で済ませるのではなく、自ら作品の原本を確認、分析する必要があるのは言うまでも無い。本授業では、日本の古典籍を調査、研究するために必要となる書誌学等の専門的な知識や技術を身につけた上で、各自の研究テーマに合わせて自由に原本調査をしてもらい、古典文学をより深く理解するための力を養う。

512204 日本文化演習（視覚文化）A I

【到達目標】

- ・視覚的な文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。

- ・近現代文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・多様な隣接領域との交流によって、文学がどのように変容したかを説明できる。

【概要】 文学というジャンルは単独で存在するのではない。映画のモンタージュという方法や、シナリオの形式は、文学表現の世界を大きく変えた。美術と文学の関係は、装幀や挿絵からも読み取れるし、詩画集という形式を取ることもある。写真、美術、映画など、隣接するジャンルとの相互関係のなかで、文学に新しい光を当てていく。

512205 日本文化演習（視覚文化）AⅡ

【到達目標】

- ・視覚的な文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・近現代文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・多様な隣接領域との交流によって、文学がどのように変容したかを説明できる。

【概要】 文学というジャンルは単独で存在するのではないということを「日本文化演習（視覚文化）AⅠ」とは異なる視点から検討する。映画のモンタージュという方法や、シナリオの形式は、文学表現の世界を大きく変えた。美術と文学の関係は、装幀や挿絵からも読み取れるし、詩画集という形式を取ることもある。写真、美術、映画など、隣接するジャンルとの相互関係のなかで、文学に新しい光を当てていく。

512206 日本文化演習（視覚文化）BⅠ

【到達目標】

- ・視覚的な文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・近現代文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・多様な隣接領域との交流によって、文学がどのように変容したかを説明できる。

【概要】 文学というジャンルは単独で存在するのではない。映画のモンタージュという方法や、シナリオの形式は、文学表現の世界を大きく変えた。美術と文学の関係は、装幀や挿絵からも読み取れるし、詩画集という形式を取ることもある。写真、美術、映画など、隣接するジャンルとの相互関係のなかで、文学に新しい光を当てていく。

512207 日本文化演習（視覚文化）BⅡ

【到達目標】

- ・視覚的な文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・近現代文化のジャンルを越えた影響関係について理解する。
- ・多様な隣接領域との交流によって、文学がどのように変容したかを説明できる。

【概要】 文学というジャンルは単独で存在するのではない「日本文化演習（視覚文化）BⅠ」とは異なる視点から検討する。映画のモンタージュという方法や、シナリオの形式は、文学表現の世界を大きく変えた。美術と文学の関係は、装幀や挿絵からも読み取れるし、詩

画集という形式を取ることもある。写真、美術、映画など、隣接するジャンルとの相互関係のなかで、文学に新しい光を当てていく。

512208 創作と批評

【到達目標】

- ・ 創作者の立場に立って、プロットの着想、表現の工夫、専攻創作物との向き合い方、享受者への訴えなどを理解する。
- ・ 諸ジャンルの特徴を学び、言葉を用いた創作のスキルを身につける。
- ・ 創作者から学びながら、文章創作の力を養う。

【概要】 創作者の意識・方法にたいしての理解を深めることを目的とする。創作過程において、どのようにプロットが着想され、また、表現を重ねるなかでどのように変容してゆくのか。また、自身の表現手法はどのように自覚され、それが実際の表現の場で、どのように反映されるのか。先行する作品は、創作のさいにいかに意識され、利用され、乗り越えられるのか。これらについて、実作を試みることで確かめる。

512209 批評と出版文化

【到達目標】

- ・ 出版文化の拡大期である近代の特性を理解する。
- ・ 文学理論、文化論、社会批評など、批評や評論の分野における知の変遷と現代の潮流を理解する。
- ・ 批評的に論評するためのスキルを身につけ、それを応用して実践的に発信する力を養う。

【概要】 日本の近代、新聞・雑誌の発行部数の急速な拡大に伴い、文芸批評をはじめとする批評文化が根付いていった。具体的な文学評論、論評的な記事を取り上げ、それらにおける時代の知の影響、あるいは時代を導く知の様態を検討する。戦時下においては、総力戦体制に利用されたマス・メディアの負の部分も見逃せない。自ら思考し、それを文章化して他者に発信する力を養うことで、批評と出版文化への批評的精神も同時に養うことを目指す。

【哲学】

511201 2年次演習Ⅰ（哲学）

【到達目標】

- ・ 哲学書を読むうえで必要な構えを身につける。
- ・ 哲学的著作にふれ、哲学的に考えることに習熟する。
- ・ 疑問点や重要点をみなで議論する仕方をいっそう学ぶ。
- ・ 他の人の前で発表し、質疑応答をリードする。

【概要】 我々に身近な主題(「食」「感性」「知覚」)を巡る思索が展開される哲学的テキストを最後まで読通しながら、その思索が孕むより深い哲学的文化的諸問題(「意味」「知性」「感性・感覚」「神」「因果性」「美的なもの」など)との連関についての関心を培う。授業ではレジュメ作成・質問担当者を決め、授業参加者同士でディスカッションを行う。

511202 2年次演習Ⅱ (哲学)

【到達目標】

- ・哲学と芸術哲学の英文テキストを正確に理解する。
- ・英語で自分の考えをまとめ、論理的に表現する技法を習得する。
- ・他の参加者たちと英語で討論する技法を身につける。
- ・英語で考え、討論することを通じ、日常的に用いている日本語の論理的構造に敏感になる姿勢を獲得する。

【概要】 英語で書かれた論理学およびクリティカル・シンキングのテキストを題材として、英語レジュメを作成し、英語での発表と質疑を行い、日本語の哲学的概念を英語で表現することでこれらの概念を複層的に把握することを目指す。その過程の中で、論理的思考力や表現力、主体的な参加の姿勢などの能力をよりいっそう身につける。

【言語】

512210 日本語史演習Ⅰ

【到達目標】

- ・日本語史のさまざまな問題について考究する力を養う。
- ・日本語史研究に用いる文献資料、データやツールの使用法の基礎を学ぶ。
- ・口頭発表(プレゼンテーション)の力とレジュメの作成および文章表現の力を身につける。

【概要】 日本語史研究の材料となる文献資料および日本語歴史コーパスを扱う基礎的な方法を身につけることを目標とする。具体的に特定の文献を取り上げ、正確な翻字作業を踏まえ、字体や表記の観察から、語釈、歴史的考証を経て通釈に至る基礎篇と日本語史上の問題点を一つ以上取り上げ、考究する研究篇の二本立ての構成に基づいてレジュメをまとめ、専門的な内容を平明に解説する発表力も身につける。

512211 日本語史演習Ⅱ

【到達目標】

- ・日本語史のさまざまな問題について考究する力を養う。
- ・日本語史研究に用いる文献資料、データやツールの応用的手法を学ぶ。
- ・口頭発表(プレゼンテーション)の力とレジュメの作成および文章表現の力を身につける。

る。

【概要】 日本語史研究の材料となる文献資料および日本語歴史コーパスを扱う方法を実践的に身につけることを目標とする。具体的に特定の文献を取り上げ、正確な翻字作業を踏まえ、字体や表記の観察から、語釈、歴史的考証を経て通釈に至る基礎篇と日本語史上の問題点を一つ以上取り上げ、考究する研究篇の二本立ての構成に基づいてレジюмеをまとめ、専門的な内容を平明に解説する発表力も身につける。

512212 現代日本語演習Ⅰ

【到達目標】

- ・日本語学のさまざまな問題について考究する力を養う。
- ・既存のデータやツールの使用法を学ぶ。
- ・口頭発表の力と文章表現の力を向上させる。

【概要】 現代語を対象に、日本語学のいろいろな問題について広く考究する。自分でデータを集め、分析することが基本となる。既存のデータやツールの使用法も学んでゆく。本演習では、書き言葉を対象とする。複数回の報告および討論を踏まえたレポートの提出を義務づけ、口頭発表の力と文章表現の力の双方の向上をも目標とする。

512213 現代日本語演習Ⅱ

【到達目標】

- ・日本語学のさまざまな問題について考究する力を身につける。
- ・既存のデータやツールの使用法を身につける。
- ・口頭発表の力と文章表現の力を向上させる。

【概要】 現代語を対象に、日本語学のいろいろな問題について広く考究する。自分でデータを集め、分析することが基本となる。既存のデータやツールの使用法も学んでゆく。本演習では、書き言葉に加え話し言葉についても対象とし、話し言葉と書き言葉の対照や、同じ話し言葉（書き言葉）でも種類が異なる場合に、どのような違いが現れるかなどにも目を配りながら分析する。複数回の報告および討論を踏まえたレポートの提出を義務づけ、口頭発表の力と文章表現の力の双方の向上をも目標とする。

512214 日本語資料調査

【到達目標】

- ・日本語資料の調査方法を学ぶことで、言語実態を客観的に捉える力を養う。
- ・調査の実践を通して、日本語資料の調査方法を具体的に身につける。

【概要】 日本語の変化や変異の状況を把握するための調査方法を学ばせる。言語使用の実態をデータとして収集、分析、解釈する場合の調査方法を概観する。対面による質的調査や文献資料、コーパス、アンケートを活用した数量的調査など、調査方法に応じた技法を

実践的に習得させる。

具体的な調査の企画・立案、調査票の作成（調査項目の設定、質問方法の検討、質問文のワーディング）など、調査の実際における対処事項なども学ばせる。併せて、調査で得られた言語実態の背景や要因など言語に広く関わる事象の調査方法も検討する。

512215 日本語データ分析Ⅰ

【到達目標】

- ・コンピュータで日本語表現を扱う基本的な技術を取得する。
- ・日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか考える力を養う。
- ・データマイニングの基礎的な考え方を身につける。

【概要】 日本語（一般に言語）表現をコンピュータで扱う技能や、データマイニングについて、その基礎となる考え方を学んでゆく。実際にコンピュータに向かいつつ、基礎的な技術を取得することをめざす。更には、授業時間外の実習によって、より深い理解をはかる。プログラミング言語（Perl や Python 等）によるプログラミングや、既存のツール（KHCoder 等）による実習を伴う。

512216 日本語データ分析Ⅱ

【到達目標】

- ・コンピュータで日本語表現を扱う応用的な技術を取得する。
- ・日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか、自ら探る態度を身につける。
- ・データマイニングの応用的な技術を身につける。

【概要】 日本語（一般に言語）表現をコンピュータで扱う技能とともに、その基礎となる考え方を学んでゆく。実際にコンピュータに向かいつつ、その応用的な技術・考え方を取得することをめざす。更に授業時間外の実習によって、深い理解をはかる。言語表現・情報をコンピュータによって処理する方法を総合的に把握するとともに、先人が見出してきたものを習得するだけではなく、コンピュータの活用の可能性を自ら探る態度を身につけることを目標とする。

513201 英語音声学

【到達目標】

- ・英語の音声的特徴および発音の仕方に関する基本的概念を理解する。
- ・英語独特の強勢パターン、イントネーション、リズム感を含む英語らしい発音を習得する。

【概要】 英語独特の音声的特徴の基本的知識を学ぶとともに、英語の発音の仕方を身につ

けることを目的とする。母音の構成、子音の種類、音節の成り立ち、音のつながり、語・句・文の各レベルにおける強勢パターン、イントネーション、リズムなどについて、日本語との違いを念頭に置きながら学習する。同時に、音声教材やインタラクティブなトレーニング教材などを用いて、英語の発音の実践練習を行い、英語らしい発音の仕方を体得する。

513202 英語学入門演習

【到達目標】

- ・英語の歴史、音声や文法の特徴、社会との関係などについての基本的知識を身につける。
- ・英語を言語学的に洞察する態度を養う。

【概要】 英語という言葉の姿と言語学的な研究方法についての基礎知識を得ることをねらいとする。世界語と言われるまでになった英語の現状とその発展の経緯を把握するとともに、音声、語彙、文法、歴史、方言、社会との関係などのテーマごとに学ぶことを通して、英語を多面的に理解すると同時に、それぞれの分野ごとに、どのような問題や研究テーマがあるかを探る。英語概論と英語学入門を兼ねた授業である。

513203 Pronunciation

【到達目標】

In this course students will learn to communicate effectively by:

1. developing multiple aspects of pronunciation, including intonation, word stress, and sentence stress, through pair and group speaking activities.
2. being introduced to pronunciation found in various Englishes.
3. applying the pronunciation skills they learn about on the course for group discussions and presentations.

効果的なコミュニケーションスキルを身につけるために、以下を習得する。

1. ペアやグループでのスピーキング・アクティビティを通じて、イントネーション、単語の強弱、文の強弱など、学習者の発音の様々な側面を発展させる。
2. 様々な英語に見られる発音を紹介する。
3. このコースで学んだ発音スキルをグループ・ディスカッションやプレゼンテーションで活用できるようにする。

【概要】 This course is designed to enhance skills necessary for succeeding in academic communication. Students will be able to consolidate their ability to gain knowledge and study effectively. They can become learners who are able to reflect on their own strengths and weaknesses and become responsible for their successes.

This course will develop students' pronunciation through practical activities and feedback and introduce them to pronunciations found in a wide range of Englishes.

この科目は、学術的なコミュニケーションで成功するために必要なスキルを高めることを目的とする。学生は、得た知識を使って効果的に勉強する能力を固めることができるようになる。自分の長所と短所を振り返り、成功に責任を持つことができる学習者になることができる。

この科目では、実践的なアクティビティとフィードバックを通じて学生の発音を向上させる。さらに、幅広い種類の英語に見られる様々な発音を紹介する。

513204 英語教育演習 A

【到達目標】

- Students will learn about and practice a variety of techniques to teach the four skills.

4 技能を教えるさまざまなテクニックを実践練習し身につける。

- Students will maintain a teaching techniques log with descriptions and rationale of the activities.

活動とその理論的根拠を記載した指導技術の記録を保管し客観的に分析できるようになる。

- Students will be able to apply the Four Strands approach in mock lessons.

模擬授業で four strand アプローチを適用できるようになる。

【概要】 This practical skills course is intended for students who are interested in becoming teachers of English as a foreign language. Students will practice using different teaching techniques to teach the four skills (listening, speaking, reading and writing) as well as aspects of language use such as pronunciation, vocabulary, grammar and discourse.

本演習は、外国語としての英語教師を目指す学生を対象とする。学生は、4 技能（聞く、話す、読む、書く）に加え、発音、語彙、文法、談話といった言語使用についても、さまざまな教授法の練習を行う。

513205 英語教育演習 B

【到達目標】

- Students will be able to plan lessons to include lesson objectives, activities and timing, and interaction patterns.

授業の目的、アクティビティとタイミング、対話パターンを含めて授業を計画できるようになる。

- Students will be able to evaluate techniques to test different language skills

(e.g. reading, writing, etc.).

様々な言語スキル(読解力、書く能力等)を評価するためのテクニックを分析できるようになる。

•Students will practice and learn techniques to handle challenges in the classroom, such as different proficiency levels and large class sizes.

レベルが異なるクラスや大規模なクラス等、教室での課題に対処するためのテクニックを習得する。

【概要】 This practical course is intended for students who are interested in teaching English as a foreign language. The focus is on classroom management issues such as: planning lessons and courses; handling unmotivated students; and teaching large classes.

本演習は、外国語としての英語教師を目指す学生を対象とする。学生は、授業や科目の計画、モチベーションの低い生徒への対応、大人数のクラスでの授業など、クラス運営の問題に重点を置いて議論する。

513206 英語学演習 A

【到達目標】

- ・英語を中心とする様々な言語における単語・文構造に関連する現象について、客観的に分析する手法を習得する。
- ・形態・統語論に関わる先行研究における分析方法や、それらの特徴を理解する。
- ・上記2点を通じて、英語、ひいては人間の言語の構造に対する理解を深める。

【概要】 主に 1980 年代以降の英語で書かれた先行研究を参照しながら、形態・統語論に関わる具体的な資料を客観的に分析し、考察を加える。英語、日本語、その他の言語の多様な形態・統語現象の中に規則性を発見し、人間の脳に内在する認知能力の一部を成す文生成のメカニズムを探る。一見互いに異なる構造の間に見られる一般性、および言語間の共通性と差異についての手がかりを確かめていく過程を経験することによって、言語を見る眼を養うとともに、資料を分析する能力、議論を組み立てる能力を強化し、自然界の一部であり自らのこころの一部でもある「人間の言語能力」に迫ろうとする人間の知的営みを体験する。

513207 英語学演習 B

【到達目標】

- ・意味論の諸理論の基本を理解する。
- ・それらを多様な英文に適用し、英語の「意味」を総合的に分析する力を養成する。
- ・語用論の諸理論の基本を理解する。
- ・それらを多様な英文に適用し、英語を発話のレベルで総合的に分析する力を養成する。

【概要】 本演習は、意味論の諸理論からのアプローチにより、具体的な英語使用の場で、どのように「意味」が成り立っているかを考察し、理解を深めることを目的とする。実際の英語使用における「意味」の諸相を観察し、分析する。さらに、発話行為論、ポライトネス理論、含意のメカニズムに関する理論、会話分析、談話分析、二言語間の語用論など、語用論の諸理論からのアプローチにより、具体的な英語使用の場で、どのように英語が発話されているかについても多角的に考察し、理解を深める。あわせて英語教育への応用の仕方についても論じる。各自の発表形式で授業を進め、資料収集、文献検索、データ分析の方法などを習得する。

513208 English Seminar Writing I

【到達目標】

The goal of English Seminar Writing I is for students to be able to:

- write grammatically correct sentences
- improve reading skills directly related to academic writing
- build on their ability to write academic essays consisting of an introduction, body, and conclusion
- understand the importance of quotations and evidence in writing academic essays
- recognize and avoid plagiarism

【概要】 英語圏文化専攻の各専門分野のテキストを読んで理解し、論じ、それについて英語で書く力を身につけることができるようになるための演習である。テキストを理解し分析する能力を高め、理解した内容について、短い学術的なエッセイ（その際、MLAやAPAの形式に従った引用、主題文を補強する証拠、文献目録を含む）を書く能力を向上させることがこの授業の目標である。

513209 English Seminar Writing II

【到達目標】

The goal of English Seminar Writing II is for students to be able to:

- edit and successfully revise their own essays
- use a wide variety of sources such as books, periodicals, films, and reliable Internet sites in their research and writing
- further develop their critical analysis skills directly related to academic writing

【概要】 学術的なエッセイを書く能力をさらに向上させることが到達目標であり、従って授業の多くはエッセイのテーマについてのリサーチ方法の習得や、各専門分野から選んだテーマについてより長文のエッセイを書き、それを自分で編集し修正することに費やされる。数回課せられる長文エッセイも、授業内での活動も、Iより高度な内容が求められる。

【文学】

512217 日本古典文学入門演習

【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の古典文学作品を丁寧に精読し、語釈等を通じて適切な解釈（現代語訳）を施し、あわせてそれらに対する私見を提示することで、個々の文学作品をより深く味わい、理解することを目指す。発表者は自らの担当範囲を上述の立場から丁寧に予習・解説（その過程で、古典文学解釈の基礎を学ぶこととなる）し、一方発表者以外の学生は、こちらも作品と丁寧に向き合いながら発表者の意見を汲み取り、その上でなお残る問題を指摘し、相互のやりとりの中で問題の解決を目指す。

512218 日本古典文学演習 A

【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 古典文学演習 BCDEF とは異なる部分または方法で日本の古典文学作品を取り上げ、精読または多読し、あわせて古代・中世・近世といったそれぞれの古典文学作品を生み出した時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、古典文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

512219 日本古典文学演習 B

【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。

る。

- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 古典文学演習 ACDEF とは異なる部分または方法で日本の古典文学作品を取り上げ、精読または多読し、あわせて古代・中世・近世といったそれぞれの古典文学作品を生み出した時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、古典文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

512220 日本古典文学演習 C

【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 古典文学演習 ABDEF とは異なる部分または方法で日本の古典文学作品を取り上げ、精読または多読し、あわせて古代・中世・近世といったそれぞれの古典文学作品を生み出した時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、古典文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

512221 日本古典文学演習 D

【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 古典文学演習 ABCEF とは異なる部分または方法で日本の古典文学作品を取り上げ、精読または多読し、あわせて古代・中世・近世といったそれぞれの古典文学作品を生み出した時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景

に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、古典文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

512222 日本古典文学演習 E

【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 古典文学演習 ABCDF とは異なる部分または方法で日本の古典文学作品を取り上げ、精読または多読し、あわせて古代・中世・近世といったそれぞれの古典文学作品を生み出した時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、古典文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

512223 日本古典文学演習 F

【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 古典文学演習 ABCDE とは異なる部分または方法で日本の古典文学作品を取り上げ、精読または多読し、あわせて古代・中世・近世といったそれぞれの古典文学作品を生み出した時代について理解させる。作品を読む上で欠かせない文語文法、古語、時代背景に注意しつつ、和歌であればその特有の修辞法など、古典文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。上記の目標達成のため、各学生が担当部分の問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる。

512224 日本近代文学演習 A I

【到達目標】

- ・日本古典文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の古典文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書などの文献の利用法を習得する。
- ・作品に対し自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の近代文学の作品を精読し、あわせて近代文化について自分で発展的に考察できるよう導く。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近代文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

512225 日本近代文学演習 AⅡ**【到達目標】**

- ・日本の近代文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の近代文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書・文学理論書・思想書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の近代文学の作品について、「日本近代文学演習 AⅠ」とは異なる観点から分析できる作品を精読し、あわせて近代文化について自分で発展的に考察できるよう導く。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近代文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

512226 日本近代文学演習 BⅠ**【到達目標】**

- ・日本の近代文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の近代文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書・文学理論書・思想書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の近代文学の作品を精読し、あわせて近代文化について自分で発展的に考察

できるよう導く。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近代文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

512227 日本近代文学演習 BⅡ

【到達目標】

- ・日本の近代文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の近代文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書・文学理論書・思想書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の近代文学の作品について、「日本近代文学演習 BⅠ」とは異なる観点から分析できる作品を精読し、あわせて近代文化について自分で発展的に考察できるよう導く。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近代文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

512228 日本現代文学演習 AⅠ

【到達目標】

- ・日本の近代文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の近代文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書・文学理論書・思想書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の現代文学の作品を精読し、あわせて現代文化について自分で発展的に考察できるよう導く。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、近代文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

512229 日本現代文学演習 AⅡ

【到達目標】

- ・日本の現代文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の現代文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書・文学理論書・思想書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の現代文学の作品について、「日本現代文学演習 A I」とは異なる観点から分析できる作品を精読し、あわせて現代文化について自分で発展的に考察できるよう導く。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、現代文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

512230 日本現代文学演習 B I**【到達目標】**

- ・日本の現代文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の現代文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書・文学理論書・思想書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の現代文学の作品を精読し、あわせて現代文化について自分で発展的に考察できるよう導く。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、現代文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

512231 日本現代文学演習 B II**【到達目標】**

- ・日本の現代文学を解釈するのに必須な、基本的知見を身につける。
- ・日本の現代文学を解釈するのに必須な、辞書・索引・注釈書・文学理論書・思想書などの文献の利用法を習得する。
- ・種々の文献をもとに自らの意見を構築して、わかりやすく提示し、議論を通じて自らの意見を再構築する力を養う。

【概要】 日本の現代文学の作品について、「日本現代文学演習 B I」とは異なる観点から

分析できる作品を精読し、あわせて現代文化について自分で発展的に考察できるよう導く。作品を読む上で欠かせない政治的、文化的時代背景に注意しつつ、各ジャンル特有の創作理念など、現代文学の特性や、それぞれの作品の構造その他の特徴に関しても学ぶことが出来るよう配慮する。必要に応じて、資料の検索方法や活用方法の解説、学術論文の読解を行う。各学生が担当する問題点・疑問点を整理して発表し、それをもとに討論を重ねる形で授業を行う。

513210 英語文学文化入門演習

【到達目標】

- ・さまざまな時代やジャンルの英語文学・文化テキスト原典を読み解き、論じる力を涵養する。
- ・英語文学・文化テキストを読み解く基礎的な方法や視座、関連する辞典等資料についての入門的知識を得る。
- ・上記をとおして英語文学・文化史の入門的知識を得る。

【概要】 さまざまな時代、ジャンル、主題、技法で織りなされた英語文学・文化テキストの原典の読解の実践練習を演習形式で行う。必要に応じてテキストと関連する辞典やデータベース、先行研究、批評理論等の各種文献資料についての基礎的な知識も得る。上記をとおして、学生が英文学および文化史の入門的な知識を習得しつつ、時代やジャンルを横断して様々な対象を読み解き、問題点を発見し、思索を深め、論じる基礎力を涵養する。

513211 English through Literature

【到達目標】

In this content-based course students will develop their critical thinking skills and creativity by:

- 1.learning about how literature, including drama, has been performed through video analysis.
- 2.enhancing knowledge of different genres of literature through the performance of works of literature in groups.
- 3.developing an understanding of key literary concepts and putting these to use in analysis of literary texts.

内容重視型の本授業では、批判的思考力および創造力を養うために、以下を習得する。

1. 演劇を含む文学がどのように上演されてきたか、映像分析を通じて学ぶ。
2. グループで文学作品の上演を通じて、さまざまなジャンルの文学についての知識を高める。
3. 重要な文学的概念の理解を深め、文学作品の分析にそれらを活用する。

【概要】 This course is designed for students to study content through an

interdisciplinary approach. This will provide students the opportunity to explore across the disciplines to form an intellectual grounding. Students will learn the language used in different subjects in order to articulate their own thinking in a critical manner.

この科目は、学生が学際的なアプローチを通して学ぶことを目的とする。これにより、学生は知的基盤を形成するために、分野を超えて探求する機会を得ることができる。学生は、自分の考えを批判的に表現するために、異なる分野・科目で使用される言語を学ぶ。

513212 英語文学文化演習 A

【到達目標】

- ・英詩原典の読解に慣れ、韻律とリズム、詩語等についての基礎を理解する。
- ・英詩表現が有するさまざまな表象的特質（シンボリズム、メタファー、作品の構造など）の基礎を理解する。
- ・上記を応用して、個々の詩作品を自律的に読み解き、問いを発見して研究へと発展させる力を涵養する。

【概要】 演習形式の授業で英詩テキストの原典に触れ、詩を読み解く上で助けとなる基礎知識を確認しつつ、緻密な分析と解説を試みる。詩的言語で表現される、詩人の発見や新鮮な認識を読み取るために、詩の構成要素である主題、イメージや象徴などの比喩、構造、リズムや詩の調子などに注意を払い、文化・歴史的背景等も参照しながら個々の作品を分析する。詩人が追求する詩的言語の可能性を迫体験し、英詩作品を自律的に読み解く力を涵養する。

513213 英語文学文化演習 B

【到達目標】

- ・英語圏の児童文学および関連の深いジャンルについての理解を深め、個別の作品原典を読み解き、問いを発見して研究へと発展させる力を涵養する。
- ・児童文学作品をめぐる歴史・文化・社会的背景を多角的に理解し、先行研究や批評理論等を参照しつつ、各自の解釈や考察を深化する素地を培う。
- ・フィクションと歴史・文化・社会との関わり、特に子どもを対象とするフィクション作品の持ちうる文化・社会的影響力についての理解を深める。

【概要】 英語圏の児童文学および関連の深い各ジャンルの文学的特質を作品の綿密な読解分析、各学生による発表やディスカッション等をとおして理解する。リアリズムやファンタジー、ヤングアダルト小説や幼年向きの読み物等の作品を、歴史・文化・社会的背景や思潮、受容・アダプテーションの例、視覚文化との関連等も必要に応じて参照しつつ読み解く。人種、階級、ジェンダー、セクシュアリティ等の視座からの作品分析と解釈も試み、個々の作品と、作品を成立させた文化・歴史的コンテキストのより深い理解を得る。

513214 英語文学文化演習 C

【到達目標】

- ・演劇という表象ジャンルについての理解を深め、個別の作品原典を読み解き、問いを発見して研究へと発展させる力を涵養する。
- ・演劇テキストと関連の深い辞典やデータベース、先行研究や批評理論等を参照しつつ、作品の歴史・文化・社会的背景の理解も深め、各自の思索を深化する素地を培う。
- ・演劇というジャンルおよび個別の作品の持ちうる文化・社会的影響力についての理解を深める。

【概要】 演習形式の授業で演劇テキスト原典を読み解き、発表やディスカッション等をおして英語圏の演劇および関連の深い文学ジャンルや表象様式の特質についての理解を深める。必要に応じて、演劇テキストの構成や言語表現の特徴、戯曲と実際の上演との関係、関連の深い作品例、受容・アダプテーションの態様、歴史・文化・社会的背景や思潮との関連等、演劇テキストを読み解く視座の一端に注意を払い、上演例など関連映像や現代批評理論を参照しつつ、作品の文学・文化・社会的意味を考察し、各自の思索を研究へと発展させる素地を培う。

513215 英語文学文化演習 D

【到達目標】

- ・英語圏の近代もしくは現代小説という表象ジャンルについての理解を深め、個別の作品原典を読み解き、問いを発見して研究へと発展させる力を涵養する。
- ・言語表現に生じる諸問題や作品テキストをめぐる歴史・文化・社会的背景を多角的に理解し、先行研究や批評理論等を参照しつつ、各自の解釈や考察を深化する素地を培う。
- ・フィクションと歴史・文化・社会との関わり、特に小説が近代および現代の世界に及ぼしうる文化・社会的影響力についての理解を深める。

【概要】 演習形式の授業で近現代の英語圏で成立した小説作品の原典テキストを綿密に読み解き、小説という表象様式の特質の理解を深める。小説の主題および背景をなす、多様な時代や地域の歴史・文化・社会的背景や思潮、各種文献資料や現代批評理論を参照しつつ、テキストにおける言語表現の特徴や作品の文学・文化・社会的意味を考察し、各自の思索を研究へと発展させる素地を培う。人種、階級、ジェンダー、セクシュアリティ等の視点から作品の分析と解釈を試み、作品と、作品を成立させた文化的・歴史的コンテキストのより深い理解を得る。

【歴史】

514201 歴史文化基礎演習

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力を習得する。
- ・歴史学の諸分野について基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 歴史のおもしろさや知識をさらに充実させ、かつ歴史学に対する学生の知的関心を高めつつ、歴史を研究していくうえで求められる諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）の育成を図る。歴史学に関する古典や最新の歴史書を精読して内容を正確に把握したうえで、報告者・コメンテーター・教員のあいだで論点や探究のポイントについて質疑応答および討論を重ねていくことで、歴史学における重要なテーマや概念について基礎知識を深めるとともに、コミュニケーション能力の育成にも努める。

514202 歴史文化演習（日本古代）A I**【到達目標】**

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本古代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514203 歴史文化演習（日本古代）A II**【到達目標】**

- ・日本古代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は日本古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514204 歴史文化演習（日本古代）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本古代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514205 歴史文化演習（日本古代）BⅡ**【到達目標】**

- ・日本古代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は日本古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514206 歴史文化演習（日本近現代）AⅠ**【到達目標】**

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近現代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514207 歴史文化演習（日本近現代）AⅡ**【到達目標】**

- ・日本近現代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は日本近現代史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514208 歴史文化演習（日本近現代）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・日本近現代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 日本近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、日本近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514209 歴史文化演習（日本近現代）B II

【到達目標】

- ・日本近現代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 日本近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、日本近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は日本近現代史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514210 歴史文化演習（アジア史）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・アジア史上の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 アジア史における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、アジア史に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514211 歴史文化演習（アジア史）AⅡ

【到達目標】

- ・アジア史上の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 アジア史における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、アジア史に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生はアジア史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514212 歴史文化演習（アジア史）BⅠ

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・アジア史上の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 アジア史における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、アジア史に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514213 歴史文化演習（アジア史）BⅡ

【到達目標】

- ・アジア史上の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。

- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 アジア史における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、アジア史に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生はアジア史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514214 歴史文化演習（西洋古代）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514215 歴史文化演習（西洋古代）A II

【到達目標】

- ・西洋古代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋古代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は西洋古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514216 歴史文化演習（西洋古代）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋古代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。

- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋古代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514217 歴史文化演習（西洋古代）BⅡ

【到達目標】

- ・西洋古代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋古代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋古代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は西洋古代史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514218 歴史文化演習（西洋近世）AⅠ

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近世の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514219 歴史文化演習（西洋近世）AⅡ

【到達目標】

- ・西洋近世の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋近世における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料な

どを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は西洋近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514220 歴史文化演習（西洋近世）B I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近世の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近世に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514221 歴史文化演習（西洋近世）B II

【到達目標】

- ・西洋近世の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋近世における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近世に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は西洋近世史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514222 歴史文化演習（西洋近現代）A I

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近現代の政治や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近現代に関する研究や歴史像への

興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514223 歴史文化演習（西洋近現代）AⅡ

【到達目標】

- ・西洋近現代の政治や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋近現代における政治や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は西洋近現代の史学上重要とされるトピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514224 歴史文化演習（西洋近現代）BⅠ

【到達目標】

- ・歴史の学習に必要な諸能力（論理的・批判的思考能力、歴史的テキストの読解力、問題発見能力等）を習得する。
- ・西洋近現代の文化や社会についての基礎的な知識を習得する。
- ・報告や討論を通じて、コミュニケーション能力を育成する。

【概要】 西洋近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を行ない、西洋近現代に関する研究や歴史像への興味関心を促し、基盤となる知識を習得させる。当該領域についての歴史書または歴史論文を精読して内容を正確に把握した上で、論点をまとめて報告させる。また、質疑応答および討論を重ねていくことによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

514225 歴史文化演習（西洋近現代）BⅡ

【到達目標】

- ・西洋近現代の文化や社会についての基礎知識とスキルを身につける。
- ・関連する文献や史料を調査・分析し、その結果に関する報告と討論を重ねることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。

【概要】 西洋近現代における文化や社会をめぐって、基礎的な著作・文献や代表的な資料などを素材としながら、演習形式で授業を進め、西洋近現代に関する研究や歴史像への理解を深めさせ、基盤となる知識を習得させる。学生は西洋近現代の史学上重要とされるト

ピックをいくつか選択し、それに関連する最新の研究文献や重要史料を相互検証した上で、調査結果を報告し討論を重ねることによって、基礎知識の定着と最新の学界動向の把握に努める。

514226 オーラル・ヒストリー

【到達目標】

- ・オーラル・ヒストリーの理論と方法に関する知識を習得する。
- ・インタビュー形式での調査や既存の口述史料の分析を実際に行い、さらにそれらの証言に批判的な検証を加えて歴史を叙述する力を、実践的に養う。

【概要】 オーラル・ヒストリーは、文字史料では明らかになりにくい対象や領域について、当事者やその関係者にインタビュー形式などでの調査を行い、また既存の口述史料の分析を行うことで、その対象・領域にアプローチする研究方法である。授業では、オーラル・ヒストリーの理論と方法、可能性と課題を確認したうえで、課題の設定―対象の選定―調査項目の設定―調査の実施―分析・検証―データの保存・管理、という一連の流れを実際に体験し、オーラル・ヒストリーによる歴史研究を実践的に学ぶ。

■発展演習

【哲学文化】

511301 人文学発展演習（倫理学）AⅠ

【到達目標】

- ・倫理学に関する西洋のテキストを英語で正確に読むことができる力を身につける。
- ・時代背景を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢を習得する。

【概要】 倫理学の古典的著作を英語で講読することによって、倫理的問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、西洋近代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

511302 人文学発展演習（倫理学）AⅡ

【到達目標】

- ・前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込む

ことができる力を身につける。

- ・時代背景や関連する諸学問を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢をよりいっそう習得し、自分自身の問いを立て、答えを見つける態度を養う。

【概要】 「倫理学演習 A I」に引き続き、倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、西洋近代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

511303 人文学発展演習（倫理学）B I

【到達目標】

- ・倫理学に関する現代のテキストを英語で正確に読むことができる力を身につける。
- ・時代背景を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢を習得する。

【概要】 現代の倫理学のテキストを英語で講読することを通じて、現代の倫理的問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、現代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

511304 人文学発展演習（倫理学）B II

【到達目標】

- ・前期で身につけたテキストの読解技術にさらに磨きをかけ、より深くテキストを読み込むことができるようになる。
- ・時代背景や関連する諸学問を考慮した理解力を養う。
- ・現代的な問題との関連に敏感になる姿勢をよりいっそう習得し、自分自身の問いを立て、答えを見つける態度を養う。

【概要】 「倫理学演習 B I」に引き続き、倫理学を深く学ぶとともに、問題を自ら考える力を養うことを目指す。倫理学は実際の生活とのつながりを自覚すべきものではあるが、そのためにあえて現実から距離をとって深く広く考えることも必要である。そのためこの演習では、日本、東洋、西洋を問わず、現代の倫理思想を学ぶことを第一の課題とする。

抜き書きのつまみ食いの理解ではなく、歴史的背景のもとで個々の思想を全体的に理解することを心がける。同時に、その思想の現代的意義について、発表や議論を交えながら、学生自らの思索に資するものとなることを目標とする。

511305 人文学発展演習（近代哲学）A I

【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に前期）の古典的著作を英語で講読する。
- ・近代哲学の根本的な考え方を身につける。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術を身につける。

【概要】 西洋近世・近代哲学の古典であるデカルト、ロック、ライプニッツ、カントなどの著作を英訳または英語原典で精読する。難解なテキストを読み解く訓練を通じて、読解力や洞察力を深めることも目的とする。適宜、日本語訳も使用し、また種々の研究書も参考にする。二、三回のイントロダクションの後、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

511306 人文学発展演習（近代哲学）A II

【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に前期）の基本的な考え方を身につけた上でそこに通底する発想の根幹を把握する。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読む技術を身につけた上で、原典そのものを自ら読み解く能力を身につける。

【概要】 前期の同演習で培った能力をさらに伸ばすことをめざす。デカルト、ロック、ライプニッツ、カントなどの著作に通底している基本的発想を把握することを目的とし、読解力や洞察力をさらに深めることを目的とする。進行は前期と同様、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

511307 人文学発展演習（近代哲学）B I

【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に後期）の代表的著作を英語で講読し、そこに通底する発想の根幹を把握する。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読む技術を身につけた上で、原典そのものを自ら読み解く能力を身につける。

【概要】 西洋近世・近代哲学の古典であるカント、ヘーゲル、パース、ベルクソンなどの著作を英訳または英語原典で講読する。難解なテキストを読み解く訓練を通じて、読解力や洞察力を深めることも目的とする。適宜、日本語訳も使用し、また種々の研究書も参考にする。二、三回のイントロダクションの後、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、

その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

511308 人文学発展演習（近代哲学）BⅡ

【到達目標】

- ・西洋近代哲学（主に後期）の基本的な考え方を身につけた上でそこに通底する発想の根幹を把握する。
- ・西洋近代哲学の基本文献を読む技術を身につけた上で、原典そのものを自ら読み解く能力をつける。

【概要】 前期の同演習で培った能力をさらに伸ばすことをめざす。カント、ヘーゲル、パース、ベルクソンなどの著作に通底している基本的発想を把握することを目的とし、読解力や洞察力をさらに深めることを目的とする。進行は前期と同様、受講生二人を一組として、担当箇所を決め、その箇所の訳、解説、疑問点をレジュメを作りながら進行する。

511309 人文学発展演習（美学）AⅠ

【到達目標】

- ・美学の過去（古代から中世）の代表的著作を英語で精読する。
- ・美学史上の代表的議論についての見通しをまず獲得する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

【概要】 この演習では、まずは「感性」と不可分な美学の古典的テキストの英文訳（とその欧米語原文）を正確に講読する。同時に美学史上の代表的議論についても、レジュメを各自作成させ発表させることで全体的見通しを獲得することを目指す。以上の二重の相互不可分な視点に基づき外国語による哲学書の精読及び発表と討議を行うことで、美的なものと芸術についての基礎的理解を獲得する。

511310 人文学発展演習（美学）AⅡ

【到達目標】

- ・近代美学確立期である18世紀以降の代表的な美学・芸術論そしてそれ以後の現代の美学・芸術論を精読することで、美学という学問の歴史性について理解を深める。
- ・芸術作品や美的現象の鑑賞法について理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

【概要】 感性から芸術を繋ぐものとしての美学の位置付けを見定めるための十八世紀以降の美学テキストを日本語で精読すると同時に、前提となる芸術作品（近代から現代）の具体例についても触れていく。特に精読は前期のAⅠの外国語文献精読の成果を改めて確認しつつ、邦訳等の日本語文献を精読する。この精読と個々の芸術作品の検討と同時に、

参加者の美的現象・芸術現象を巡る自由発表と討議を行い、美的なものや芸術についての理解を深める。

511311 人文学発展演習（美学）BⅠ

【到達目標】

- ・美学の過去（近代）の代表的著作を英語で精読する。
- ・美学史上の代表的議論についての見通しをまず獲得する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

【概要】 この演習では、まずは「感性」と不可分な近代の美学の古典的テキストの英文訳（とその欧米語原文）を正確に講読する。同時に美学史上の代表的議論についても、レジュメを各自作成させ発表させることで全体的見通しを獲得することを目指す。以上の二重の相互不可分な視点に基づき外国語による哲学書の精読及び発表と討議を行うことで、美的なものや芸術についての基礎的理解を獲得する。

511312 人文学発展演習（美学）BⅡ

【到達目標】

- ・20世紀以降の代表的な現代の美学・芸術論そしてそれ以後の現代の美学・芸術論を精読することで、美学という学問の歴史性について理解を深める。
- ・芸術作品や美的現象の鑑賞法について理解する。
- ・自らの美学的問題関心をも多層的に掘り下げ、更にそれを発表を介しての他者との議論の中でより客観的なものにする。

【概要】 感性から芸術を繋ぐものとしての美学の位置付けを見定めるための現代の美学のテキストを日本語で精読すると同時に、前提となる芸術作品（近代から現代）の具体例についても触れていく。特に精読は前期のBⅠの外国語文献精読の成果を改めて確認しつつ、邦訳等の日本語文献を精読する。この精読と個々の芸術作品の検討と同時に、参加者の美的現象・芸術現象を巡る自由発表と討議を行い、美的なものや芸術についての理解を深める。

511313 人文学発展演習（現代哲学）AⅠ

【到達目標】

- ・十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術を身につける。
- ・現代哲学の古典的著作に英語でふれ、十九世紀後半から二十世紀前半にかけての思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力を養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方を身につける。

【概要】 「ヨーロッパの哲学」が西洋という枠組みを離れ、全世界的に展開し始める十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。講読は英語文献を用いる。

511314 人文学発展演習（現代哲学）AⅡ

【到達目標】

- ・十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術をよりいっそう身につける。
- ・現代哲学の古典的著作にふれ、十九世紀後半から二十世紀前半にかけての思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力をより深く養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方をより深く身につける。

【概要】 前期の本演習での議論を踏まえ、十九世紀後半から二十世紀前半にかけての現代哲学の基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力をより深く培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、現代哲学の豊穡さと可能性を理解する。

511315 人文学発展演習（現代哲学）BⅠ

【到達目標】

- ・二十世紀後半から二十一世紀初頭、すなわち現在における現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術を身につける。
- ・現代哲学の古典的著作にふれ、二十世紀後半から二十一世紀初頭における思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力を養う。
- ・疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方を身につける。

【概要】 世界中で展開されている現代哲学の基本的文献を読み解きながら、その現代性を理解することを目指す。二十世紀後半から現在における古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力を培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指す。講読は英語文献を用いる。

511316 人文学発展演習（現代哲学）BⅡ

【到達目標】

- ・ 二十世紀後半から二十一世紀初頭における現代哲学の基本文献を読むさいに必要な技術をよりいっそう身につける。
- ・ 現代哲学の古典的著作にふれ、二十世紀後半から二十一世紀初頭における思考の動向を理解し、自分自身でそれらの問題を考えていく力をより深く養う。
- ・ 疑問点や重要点をみなで議論し、哲学的討議の仕方をより深く身につける。

【概要】 前期の本演習での議論を踏まえ、二十世紀後半から二十一世紀初頭における現代哲学の基本的文献、古典的著作を読解し、そこで論じられている問題を全員で議論することを通じて、現代的な問題と課題を自分自身で考えていく力をより深く培うことを目指す。文献の正確な理解が必要なことはもちろんであるが、そこで論じられていることを批判的に読み解き、それを発表やレポートにおいて論理的に表現する力を身につけ、自分自身で新しい問題を発見することも目指し、現代哲学の豊穡さと可能性を理解する。

511317 人文学論文演習（哲学）Ⅰ

【到達目標】

- ・ 自分固有のテーマを選び、適切な論文題目をつけた上で、そのテーマをさらに掘り下げていく姿勢を身につける。
- ・ テーマにふさわしい文献を探し、読み解いていく姿勢と力を身につける。
- ・ 哲学的な研究論文を作成する技術を習得する。
- ・ スケジュールに応じて課題を設定し、着実に卒業論文の作成へと結実させる。

【概要】 4年間の学習の成果の結実が卒業論文となる。そこで、卒業論文の作成を前提に、各自の問題意識に応じた問題をいかに選び、思考をどのように進め、論の展開をいかに展開するかを実地に指導するとともに、随時、各自の研究結果を報告し、相互に批判検討しながら作業を進めて行く。また、たんに内容的な事柄ばかりではなく、論文の書き方、資料の調査方法とその取り扱い方など研究を進める上での基礎的な手続きに学生が習熟することを目指す。

511318 人文学論文演習（哲学）Ⅱ

【到達目標】

- ・ テーマにふさわしい文献を探し、読み解いていく力をよりいっそう養う。
- ・ 哲学的な研究論文を作成する技術を習得する。
- ・ スケジュールに応じて課題を設定し、着実にこなし、論文作成を行う。
- ・ 中間段階での論文内容を他の人の前で発表し、質疑応答を行なう。

【概要】 前期に引き続き、各自の問題意識に応じた問題をいかに選び、思考をどのように

進め、論の展開をいかに展開するかを実地に指導するとともに、随時、各自の研究結果を報告し、相互に批判検討しながら作業を進めて行く。個別指導を折り込みながら、最終的な完成を目指す。

【言語文化】

512301 人文学発展演習（日本文学文化）Ⅰ

【到達目標】

- ・専門とする分野を考究するための基礎的な知識や方法を身につけ、他者に発信する力を養う。
- ・専門とする分野の文献・資料・データを批判的に読み解く、あるいは分析するための、力や方法を身につける。
- ・専門とする分野を考究する基本的観点を理解する。

【概要】 日本のことば、文学、文化、あるいはそれらと関連の深い漢語や漢文学、中国の文学や文化などを対象とする研究分野において、卒業論文の作成に必要な基盤的力を養成することを目標とする。受講者の関心に合わせつつ、読解あるいはデータ分析のための基礎的なスキルを再確認するほか、対象とする学問分野の解釈・考究のために必要な基礎的な知識、文献調査法、発想、術語、研究史等を、演習形式で確認してゆく。他者に発信する力、先行研究などのほか、討議の場での他者の意見を取り入れて自らの意見を構築する力を養う。

512302 人文学発展演習（日本文学文化）Ⅱ

【到達目標】

- ・専門とする分野を考究するための知識をふまえ、他者に発信する力を養う。
- ・専門とする分野の文献・資料・データを批判的に読み解く、あるいは分析するための、力や方法を身につける。
- ・専門とする分野を考究する観点を理解し、自らの観点を見出す。

【概要】 日本のことば、文学、文化、あるいはそれらと関連の深い漢語や漢文学、中国の文学や文化などを対象とする研究分野において、卒業論文の作成に必要な基盤的力を養成し、各自が自身の卒論のテーマをつかむことを目標とする。受講者の関心に合わせつつ、読解あるいはデータ分析のための基礎的なスキルを再確認するほか、対象とする学問分野の解釈・考究のために必要な基礎的な知識、文献調査法、発想、術語、研究史等を、演習形式で確認してゆく。先行研究などは無論のこと、討議の場での他者の意見を取り入れて自らの意見を構築する力を養い、文章表現など、他者にわかりやすく発信する力を身につける。

513301 人文学発展演習（英語圏文化）Ⅰ

【到達目標】

- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の諸分野を学問的に考究するために必要となる学問的枠組みと研究手法について、その基本的な知識とスキルを身につける。
- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の諸分野を学問的に考究するために必要となる基本的な情報収集能力、分析力、および論理的思考力を身につける。
- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の諸分野を学問的に考究し、学術論文をまとめるために必要となる表現力を身につける。

【概要】 本演習は、卒業論文研究へ向けた演習の第一段階であり、英語圏文学文化、英語学、英語教育の各分野に分かれ、各分野の学問的考究の枠組みを理解し、研究課題の基本的な設定方法や研究課題に応じた資料や情報の収集の仕方を習得し、卒業論文執筆のための基本的な論理構成力や表現力を養うことを目的とする。あわせて、各分野の研究動向や先行研究の概要についても理解し、卒業研究のための勉学を主体的に進めるための学習態度を涵養する。

513302 人文学発展演習（英語圏文化）Ⅱ

【到達目標】

- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の諸分野を学問的に考究するために必要となる学問的枠組みと研究手法について理解を深め、自らの研究内容の概要についての的確に理解する。
- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の諸分野を学問的に考究するために必要となる情報収集能力、分析力、および論理的思考力を高め、自らの研究課題に応用できる力を身につける。
- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の諸分野を学問的に考究し、学術論文をまとめるために必要となる表現力を高め、短めの論文にまとめる力を身につける。

【概要】 本演習は、卒業論文研究へ向けた演習の第二段階であり、英語圏文学文化、英語学、英語教育の各分野に分かれ、各分野の学問的考究の枠組みへの理解を深め、研究課題を具体的に設定し、その研究課題に応じた資料や情報の収集力、卒業論文執筆のための論理構成力や表現力を高めることを目的とする。あわせて、各分野の研究動向や先行研究についても、自らの研究課題にあわせて的確に理解し、卒業研究のための勉学を自律的に進めることができる力を涵養する。

513303 英語教育—多元的アプローチ A

【到達目標】

- ・Develop an interdisciplinary understanding of English language teaching by integrating concepts from other fields, such as linguistics, cultural studies,

or psychology.

言語学、カルチュラル・スタディーズ、心理学等他分野の概念を統合的に取り入れ、英語教育について学際的な理解を深める。

- Enable students to critically analyze and evaluate current issues and debates in ELT, such as linguistic imperialism, English as a lingua franca, language education and migration, and native-speakerism.

言語帝国主義、国際共通語としての英語、言語教育と移民、ネイティブ・スピーカー信仰等、英語教育における問題や議論を批判的に分析し、評価できるようになる。

- Cultivate research skills and encourage students to conduct mini-research projects focusing on English education topics from various perspectives, fostering a deeper understanding of the field.

研究能力を養い、様々な視点から英語教育に焦点を当てた小規模研究プロジェクトを実施し、英語教育という分野に対する理解を深める。

【概要】 This course explores English language teaching (ELT) through an interdisciplinary lens. The focus is on approaching ELT through cultural studies, linguistics, and SLA research. Topics may include linguistic imperialism, linguistic landscapes, English as a lingua franca, teaching English through world literature, and the psychology of language learning. Through class discussions and assignments, students will develop a deeper understanding of a variety of approaches to ELT and their practical implications.

本演習は、多元的なアプローチを用いて英語教育（ELT）を探究する。特にカルチュラル・スタディーズ、言語学、SLA 研究を通して ELT を考えることに重点を置く。テーマとして言語帝国主義、言語景観、国際共通語としての英語、文学を使用した英語教育、心理言語学などを取り扱う。クラスでの議論や課題を通して、ELT への様々なアプローチとその実践についての理解を深める。

513304 英語教育—多元的アプローチ B

【到達目標】

- Provide students with knowledge of new developments and current trends in ELT globally, such as EMI, CLIL, and COIL.
- 日本と海外における ELT の新展開と現在の傾向（例：EMI, CLIL, and COIL 等）に関する知識を身につける。
- Compare traditional and innovative foreign language teaching practices in Japan and overseas.

日本と海外の伝統的な外国語教育実践と最新の外国語教授法の実践を比較して理解する。

- Encourage healthy skepticism about proposed and implemented educational solutions.

既存の教育解決策に対する健全な懐疑心を持ち、批判的に考察できるようになる。

【概要】 This course is for students interested in English language education and teacher development. The course introduces new developments and current trends in English language teaching and learning, such as EMI, CLIL, and COIL. It offers opportunities for students to reflect on new and traditional teaching methods and critically examine SLA research findings applications in practice. A large part of the course is formulating questions about what constitutes good learning and teaching and searching for possible answers.

この授業は、英語教育と英語教員育成に関心のある学生を対象にしている。英語教育および英語学習についての近年の発展や傾向を紹介する。また、新しい教授法や伝統的な教授法について考え、SLA の研究結果が教育現場においてどのように応用されているかを批判的に検討する。効果的な学習・教育とは何かを考えることはこの授業の大事な要素である。

512303 人文学論文演習（日本文学文化）Ⅰ

【到達目標】

- ・研究テーマを確定する。
- ・先行研究や作品・資料を読み込む力を身につける。
- ・発表を通して、自分の論を人に伝える能力を身につける。

【概要】 日本文学演習ⅠⅡにおける各分野の研究法の習得をうけて、本格的な卒業論文制作を進めていくことを目標とする。前期では、春休みまでに暫定的に決めたテーマとその見通しを順に発表し、討論することで、自分のめざす論の位置づけを行う。ついで指導教員と相談した上で、最終的にテーマを確定し、資料を再検討する。夏休み中に、論の構成を具体的に固め、論理的な整合性を確かめるために、熟考するよう指導する。

512304 人文学論文演習（日本文学文化）Ⅱ

【到達目標】

- ・説得力のある形で自分の論を打ち立て、それを的確な文章表現にする能力を養う。

【概要】 前期・夏休みの指導を踏まえて、後期には、文章表現に対しても注意をしつつ、卒業論文の執筆、完成を目標とする。主体的な問題意識をもったうえで、明確な作業行程にしたがい、目標にむかって着々と進むよう指導する。

513305 人文学論文演習（英語圏文化）Ⅰ

【到達目標】

- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の各学問分野の特質と広がりを理解し、学生自らの卒業研究の研究課題について、その研究内容とオリジナリティを理解する。
- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の各学問分野の先行研究への理解を深め、研究手法に

についても十分に習熟することができる。

- ・学生自らの研究課題に関する問題意識と論証を論理的で説得力のある論文にまとめるための表現力を身につける。
- ・学術論文執筆のための具体的手法に習熟するとともに、学生自らの研究成果の学問的・社会的意義を明確に理解する。

【概要】 本演習は、卒業研究を進めるための発展的・実践的能力を習得するための4年次生必修の演習であり、3年次の演習で身につけた知見と能力を伸ばし、卒業研究の成果をまとめるにふさわしい実力を涵養することを目的とする。演習は、英語圏文学文化、英語学、英語教育の各分野に分かれ、それぞれの専門分野における重要な文献資料等を綿密に考察するとともに研究成果を適切にまとめるための論理構成力や表現力を養い、卒業研究を自律的に進めるための力を養う。

513306 人文学論文演習（英語圏文化）Ⅱ

【到達目標】

- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の各学問分野の特質と広がりについて、その研究内容とオリジナリティを正確に理解する。
- ・英語圏文学文化、英語学、英語教育の各学問分野の先行研究への十分な理解をもとに、各分野の研究手法を実践的に運用できる力を身につける。
- ・学生自らの研究課題に関する問題意識と論証を論理的で説得力のある学術論文にまとめるための十分な表現力を身につける。
- ・学術論文執筆のための具体的手法への習熟をもとに、学生自らの研究成果の学問的・社会的意義を的確に表現できる力を養う。

【概要】 本演習は、卒業研究を進めるための実践的能力を伸ばし、学生自らの卒業研究を十分な学問的成果としてまとめるための力を養う4年次生必修の最も発展的な演習である。演習は、英語圏文学文化、英語学、英語教育の各分野に分かれ、それぞれの専門分野における重要な文献資料等の綿密な考察や、これまでに培った研究成果を適切にまとめるための論理構成力や表現力をもち、学問的社会的に意味のある卒業研究を仕上げるために必要な能力を養う。

【歴史文化】

514301 人文学発展演習（歴史文化）Ⅰ

【到達目標】

- ・文献や史料を正確に理解し、口頭や論述で表現する力を、身につける。
- ・説明を正確に理解し、根拠を示して質疑・応答する力量を、身につける。
- ・当該領域における学説や歴史像、史料についての専門的な知識を習得する。

- ・当該領域に関する辞書・事典・史料集・データベース等について、利用法を習得する。

【概要】 それぞれのクラスが対象とする地域や時代ごとの諸領域に即して、専門的な著作や研究論文、史料などを題材としながら、演習形式で授業を行ない、当該領域での知識と理解の深化を図る。履修者による当該領域に関する研究文献や史料の読解を行なう。また、必要な文献・史料の収集方法や、レファレンスブックの使い方を学ぶ。

514302 人文学発展演習（歴史文化）Ⅱ

【到達目標】

- ・文献や史料を正確に理解し、口頭や論述で表現する力を、高める。
- ・説明を正確に理解し、根拠を示して質疑・応答する力量を、高める。
- ・当該領域での研究テーマ設定を目指し、関連する文献や史料についての専門的な知識を習得する。
- ・先行研究や史料に関する情報を収集・整理する能力を、身につける。

【概要】 それぞれのクラスが対象とする地域や時代ごとの諸領域に即して、専門的な著作や研究論文、史料などを題材としながら、演習形式で授業を進め、当該領域での知識と問題関心の深化を図る。履修者による当該領域に関する研究文献や史料の読解を行なう。また、必要な文献・史料の収集方法や、レファレンスブックの使い方に習熟する。

514303 人文学論文演習（歴史文化）Ⅰ

【到達目標】

- ・履修分野での研究テーマについて、学習に必要な学術論文、史料などを収集する。
- ・史料や学術論文を理解するために必要な知見を獲得する。
- ・論文作成に向けて、蓄積した知識に基づき報告・発表する。

【概要】 履修者が各々の専門分野で習得してきた知識や技術の延長線上に卒業論文の主題を設定し、先行研究を踏まえて自分の論文のねらいを定める過程で、必要な指導を行なう。上記の目標を達成するために、本演習では、研究文献や史料を取り上げ、それらの内容を整理して重要な論点を抽出する訓練をしたり、参加者がそれぞれの研究テーマを中心に研究発表を行なったりする。文献解読や研究発表のための準備作業、授業時における討論を通じて、史資料の探し方と用い方、それらを研究史上に位置づける方法を学び、卒業論文作成に不可欠なノウハウを身につけられるようにする。

514304 人文学論文演習（歴史文化）Ⅱ

【到達目標】

- ・卒業論文作成に必要な学術論文、史料を収集し、読解する。
- ・卒業論文完成のための文章能力を高める。
- ・卒業論文完成のために必要な専門的、実践的知識を習得する。

【概要】 確定した卒業論文の題目に基づいて、学生自身が主体的に卒業論文を完成させることができるよう、指導する。本演習では、上記の目標を達成するために、まず、中間報告会を開催し、問題設定、篇別構成、分析手法、行論等に関する問題点を批判的に検討し合い、この中間報告会でのレビューを踏まえたうえで、さらに発表および討論を重ねることによって、卒業論文の内容の深化を図る。あわせて、論文執筆のための技法を具体的に指導していく。

■卒業論文

510401 卒業論文

【到達目標】

- ・自分の設定した研究テーマにそって資料を収集・分析する力を養う。
- ・自分の設定した仮説を、論理的・批判的考察により実証する力を養う。
- ・想定される読者に伝わる言葉で論文を書く力を養う。
- ・創造的な発見・付加を目指して粘り強く取り組み、完遂する姿勢を確立する。

【概要】 学生が自らの知的関心に沿って研究テーマを設定し、資料を収集・分析して仮説をたて、論理的・批判的考察を積み重ねることによって仮説を実証し、得られた結論を説得的に表現する、という一連の学問的営みを通じて、学士課程での集大成として論文を作成する。主に特殊演習においてそれらの論法を学ばせながら、各担当教員が個別に指導を行っていく。卒業論文提出後には、複数の教員から成る主査・副査体制を基本に口述試験を実施し、論文の審査を行う。